

「四街道市教育振興基本計画」に係る
アンケート調査報告書

平成 23 年 7 月
四 街 道 市

目 次

I . 調査の概要	1
1 . 調査の目的	1
2 . 調査の設計	1
3 . 報告書を読む際の注意事項	1
II . 調査結果の分析（児童・生徒：小学5年生・中学2年生）	2
1 . 回答者の属性	2
2 . 学校や勉強について	3
3 . ふだんの生活について	6
4 . 地域や家庭について	11
5 . 将来について	14
III . 調査結果の分析（保護者：小学5年生保護者・中学2年生保護者） .	15
1 . 回答者の属性	15
2 . 学校との関わりについて	17
3 . 子どもたちへの教育について	19
4 . 教育に関する施策全般について	22
5 . 家庭教育について	24
IV . 調査結果の分析（教職員）	26
1 . 回答者の属性	26
2 . 勤務の状況や仕事の忙しさについて	27
3 . 四街道市の学校教育について	32
4 . 教育に関する施策全般について	33
5 . 子どもの状況について	34
V . 調査結果の分析（市民）	38
1 . 回答者の属性	38
2 . 子どもたちへの教育について	40
3 . 教育に関する施策全般について	42
4 . 家庭教育・地域教育について	43
5 . 健康や体力について	45

1. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、四街道市の教育に関する状況把握等と「四街道市教育振興基本計画」を策定するうえでの基礎資料とするものである。

2. 調査の設計

	児童・生徒		保護者		教職員		市民
調査対象	小学校 (5年)	中学校 (2年)	小学校 (5年)	中学校 (2年)	小学校	中学校	満18歳以上の 男女
標本数	837人	750人	837人	750人	278人	155人	2,000人
抽出方法	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	住民基本台帳から の無作為抽出
回収数 (率)	807人 (96.4%)	673人 (89.7%)	689人 (82.3%)	591人 (78.8%)	224人 (80.6%)	138人 (89.0%)	776人 (38.8%)
調査方法	学校配布 学校回収						郵送配布 郵送回収
調査期間	5月11日～5月31日						5月12日～6月10日

3. 報告書を読む際の注意事項

- ・ 集計については単純集計、必要なクロス集計を行った。
- ・ 調査結果の数値は原則として回答率(%)を表記しており、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合(例:99.9%、100.1%)がある。また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問(複数回答)では、回答率が100.0%を上回ることがある。
- ・ 本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、場合により語句を簡略化してある。
- ・ 本文やグラフ・数表上で次の略称を使用する。n:回答者の数

11. 調査結果の分析（児童・生徒：小学5年生・中学2年生）

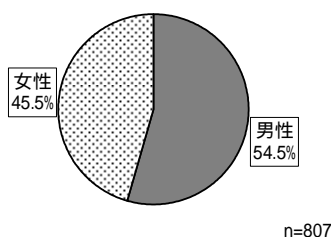
1. 回答者の属性

(1) 性別

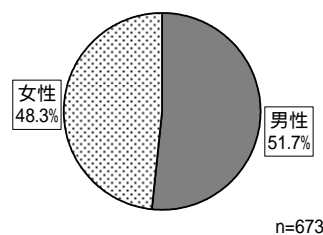
回答者の男女別をみると、小学5年生・中学2年生ともに男性が半数を上回った。

図表 11-1 性別

【小学5年生】



【中学2年生】

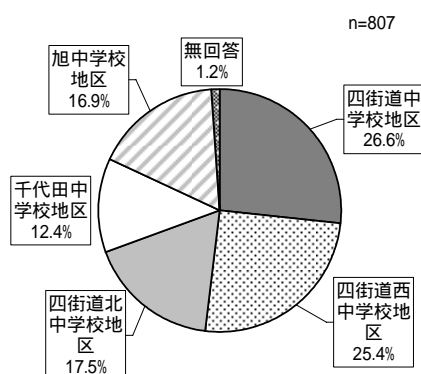


(2) 居住地区（中学校区）

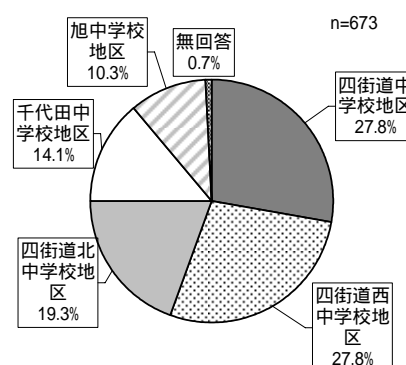
回答者の居住地区（中学校区）をみると、小学5年生・中学2年生ともに「四街道中学校地区」と「四街道西中学校地区」の割合が高く、両者を合わせるとほぼ半数を占めた。

図表 11-2 居住地区（中学校区）

【小学5年生】



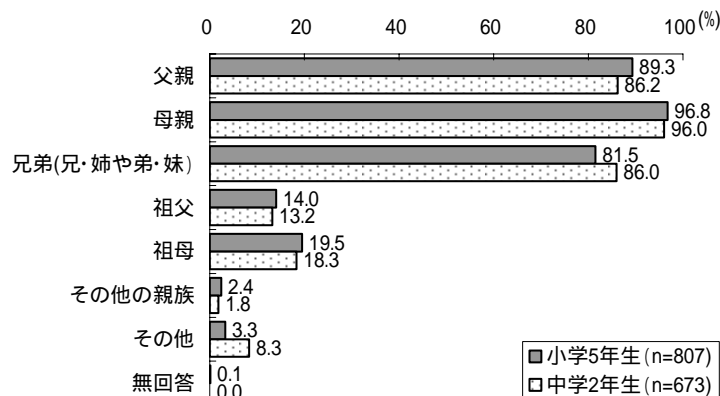
【中学2年生】



(3) 同居家族

回答者の同居家族をみると、小学5年生・中学2年生ともに「父親」、「母親」、「兄弟・姉妹」が8割を上回った。「祖父」と「祖母」は2割弱にとどまっており、核家族が高い割合を占めていることがうかがえる。

図表 11-3 同居家族

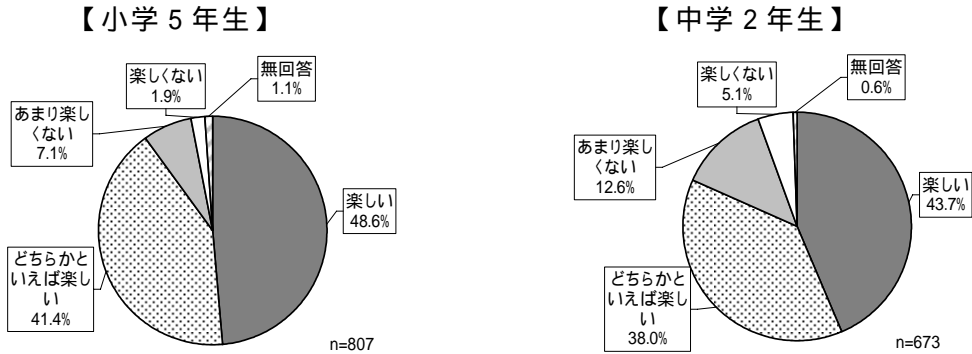


2. 学校や勉強について

(1) 学校が楽しいか

学校が楽しいか伺ったところ、小学5年生では「楽しい」(「楽しい」+「どちらかといえば楽しい」)が9割に達したが、中学2年生では8割強にとどまった。

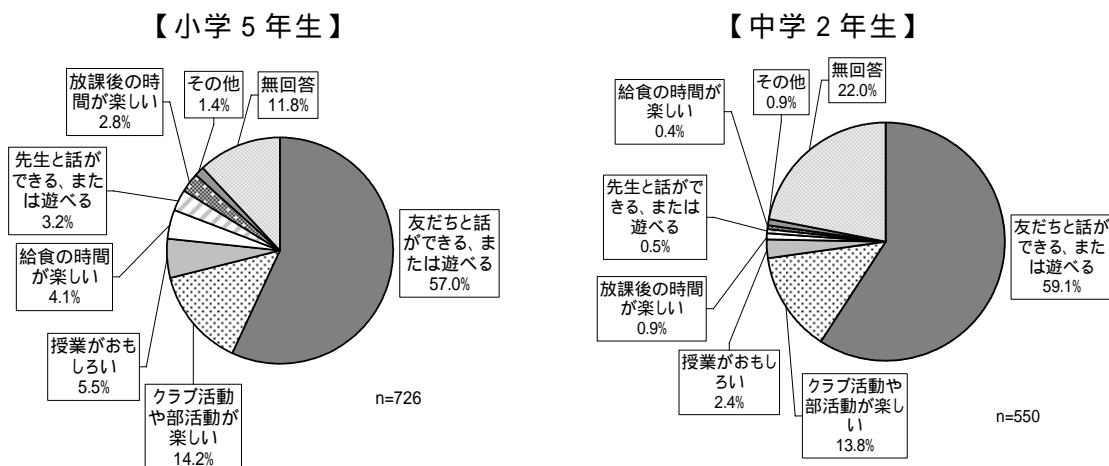
図表 11-4 学校が楽しいか



(2) (学校に通うことが)楽しいと思う理由

楽しいと思う理由について伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「友だちと話ができる、または遊べる」が6割弱と最も高くなった。

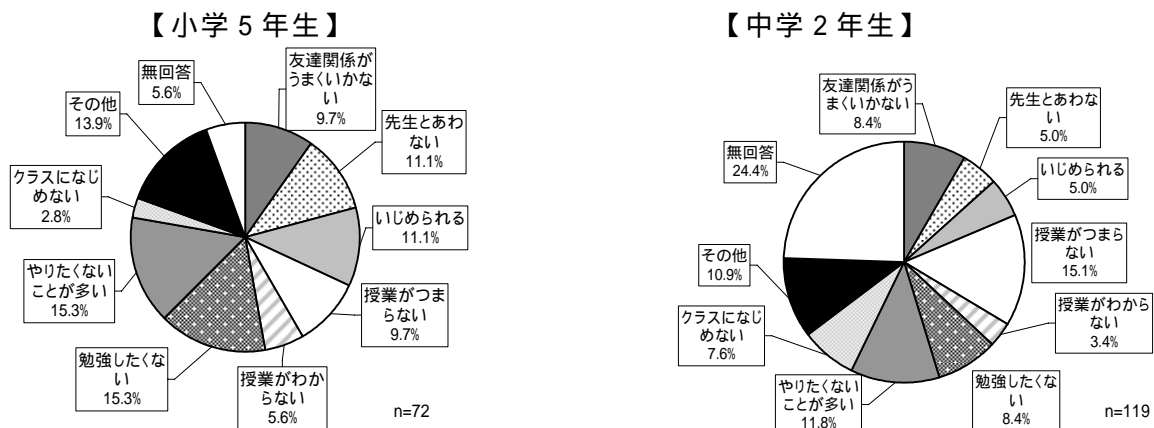
図表 11-5 楽しいと思う理由



(3) (学校に通うことが)楽しくないと思う理由

楽しくない理由について伺ったところ、小学5年生では「勉強したくない」、「やりたくないことが多い」が15.3%、中学2年生では「授業がつまらない」が15.1%と最も高くなった。

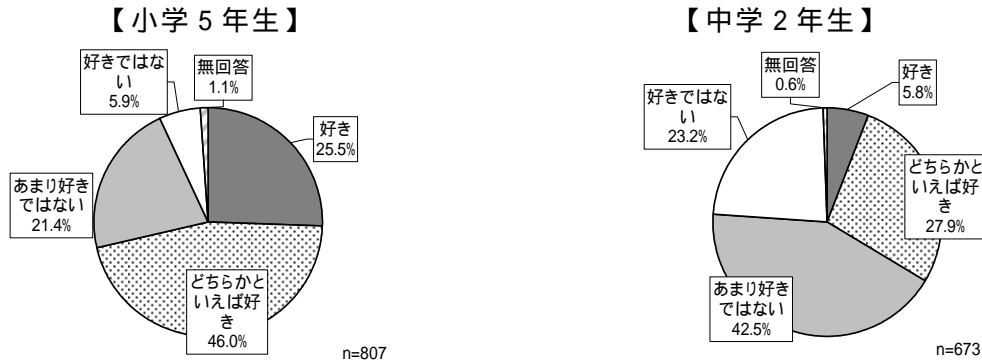
図表 11-6 楽しくないと思う理由



(4) 勉強が好きか

勉強が好きか伺ったところ、小学5年生では“好き”(「好き」+「どちらかといえは好き」)が7割強を占めたが、中学2年生では3割強と小学5年生の半数以下となった。

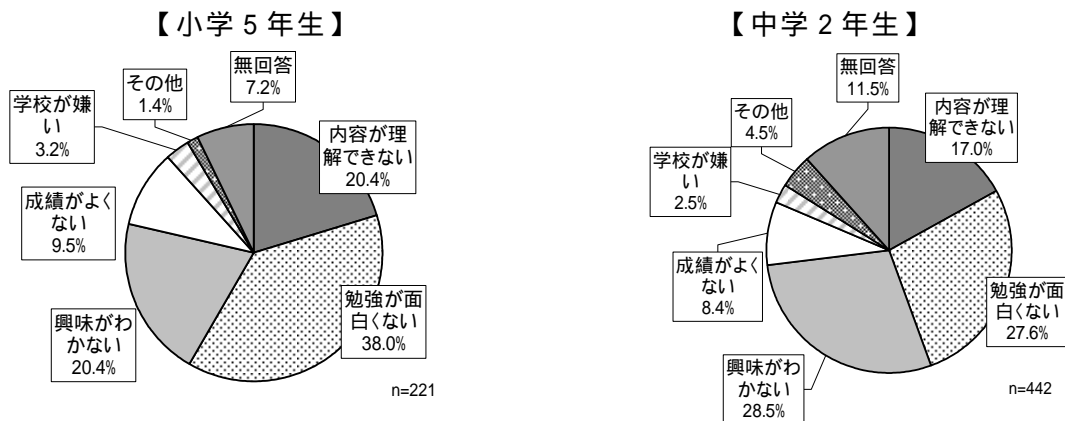
図表 11-7 勉強が好きか



(5) 勉強が好きではない理由

勉強が好きではない理由を伺ったところ、小学5年生では「勉強が面白くない」が38.0%、中学2年生では「興味がわからない」が28.5%と最も高くなった。

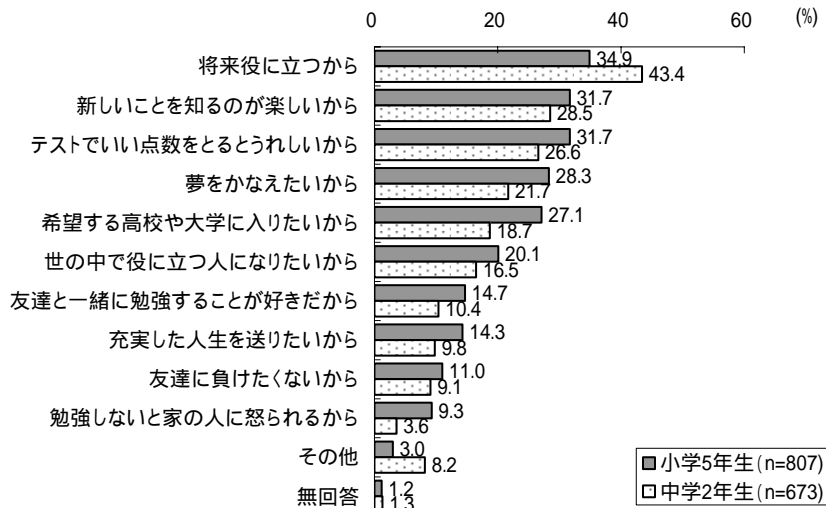
図表 11-8 勉強が好きではない理由



(6) 勉強する理由

勉強する理由を伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「将来役に立つから」が最も高くなり、中学2年生では4割強を占めた。

図表 11-9 勉強する理由

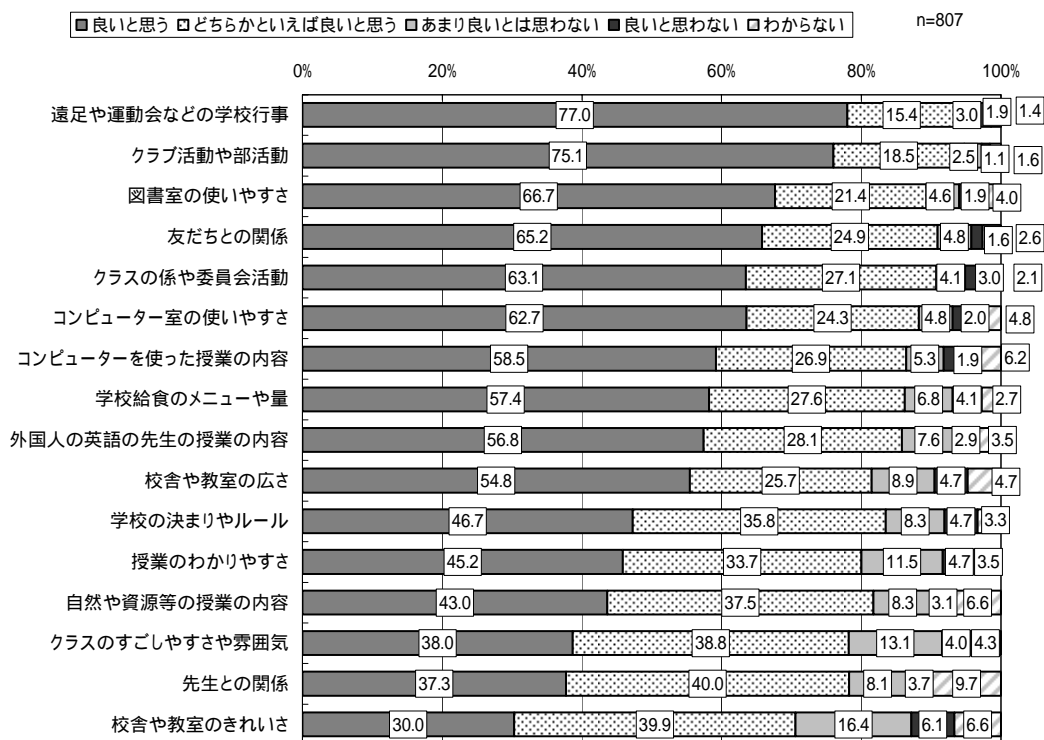


(7) 学校生活で良いと思うこと

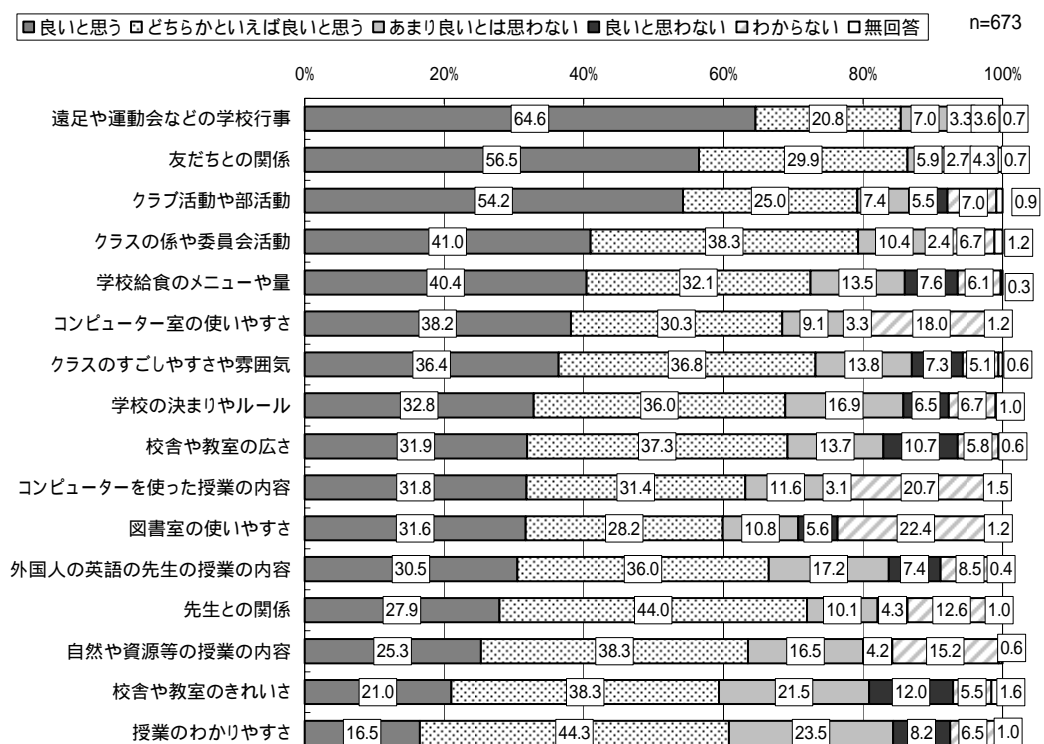
学校生活で良いと思うことを伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「遠足や運動会などの学校行事」、「クラブ活動や部活動」、「友達との関係」で「良いと思う」が半数を上回った。また、小学5年生では「図書室の使いやすさ」(66.7%)が上位を占めたが、中学2年生では3割強にとどまった。

図表 11-10 学校生活で良いと思うこと

【小学5年生】



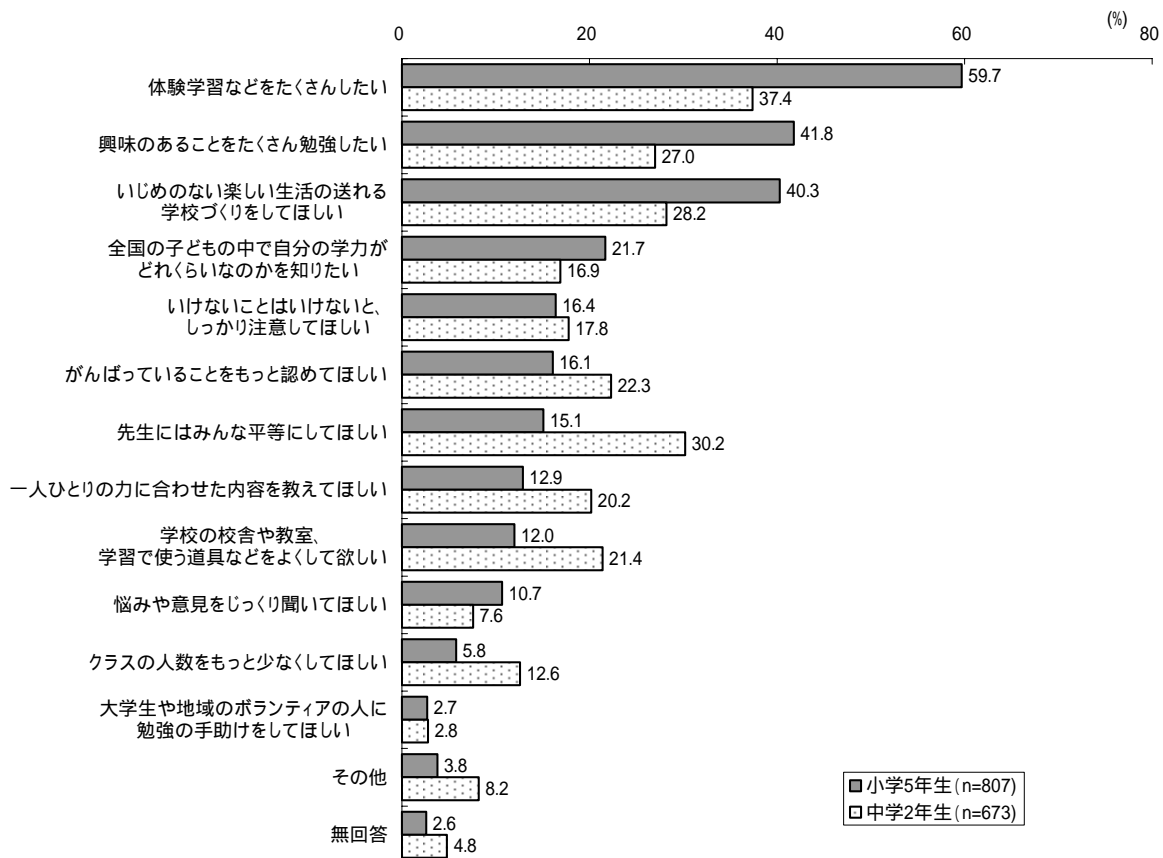
【中学2年生】



(8) 学校や先生に対して望むこと

学校や先生に対して望むことを伺ったところ、小学校5年生では、「体験学習などをたくさんしたい」が最も高く、次いで「興味のあることをたくさん勉強したい」となった。一方、中学2年生では、「体験学習などをたくさんしたい」は小学5年生と同様に最も高くなったが、次いで「先生にはみんな平等にしてほしい」となり、よりきめ細やかな指導を求めていることがうかがえる。

図表 11-11 学校や先生に対して望むこと

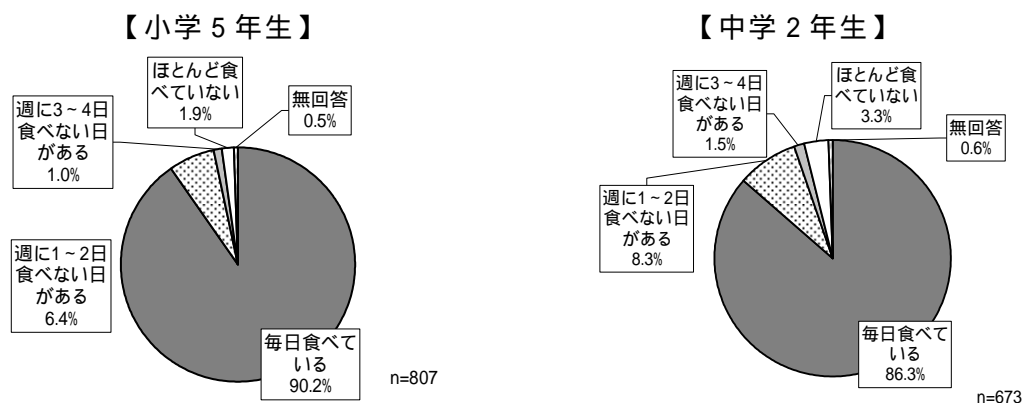


3. ふだんの生活について

(1) 朝食を食べているか

朝食を食べているか伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「毎日食べている」が9割前後を占めた。

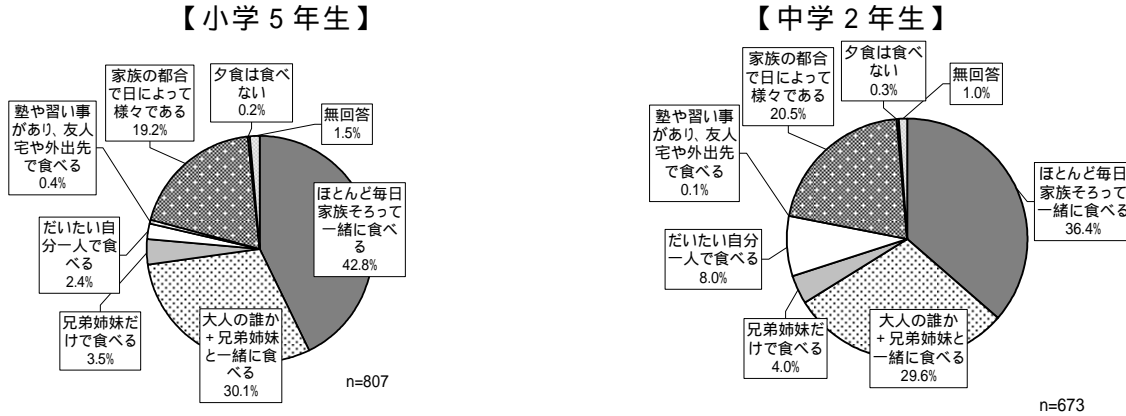
図表 11-12 朝食を食べているか



(2) 誰と朝食を食べているか

誰と朝食を食べているかを伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「ほとんど毎日家族そろって一緒に食べる」が4割前後と最も高くなった。一人で食べる割合は中学生で増加する傾向にある。

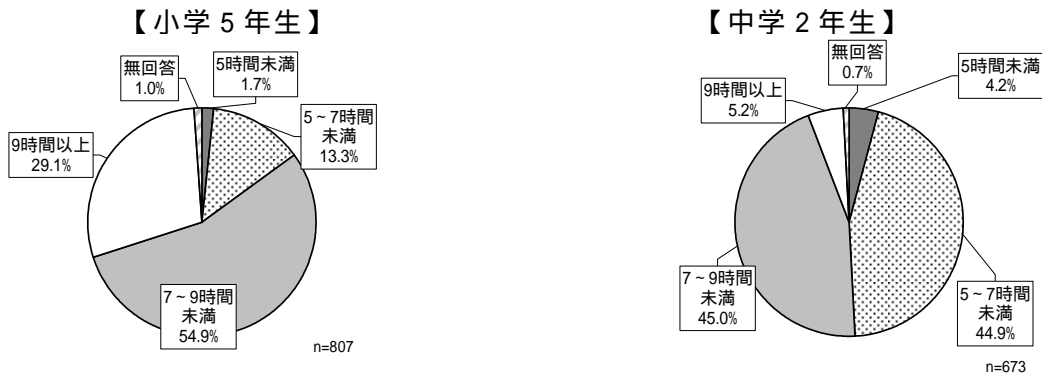
図表 11-13 誰と朝食を食べているか



(3) 睡眠時間

睡眠時間について伺ったところ、小学5年生では「7～9時間未満」が最も高く、中学2年生では「7～9時間未満」、「5～7時間未満」がそれぞれ4割強を占めた。睡眠時間は中学生で短くなる傾向にある。

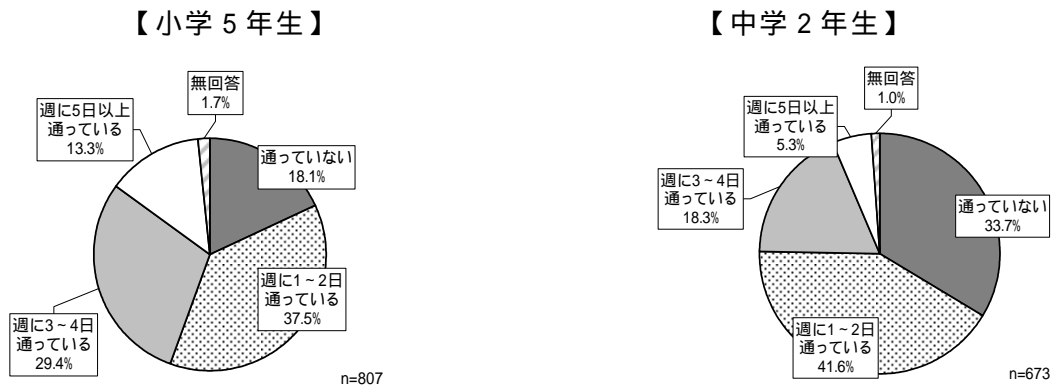
図表 11-14 睡眠時間



(4) 学習塾や習いごとに通っているか

学習塾等に通っているか伺ったところ、小学5年生では「通っている」は8割強を占めたが、中学2年生では「通っている」は6割強にとどまった。学習塾等へ通う頻度は中学生で減少する傾向にある。

図表 11-15 学習塾や習いごとに通っているか

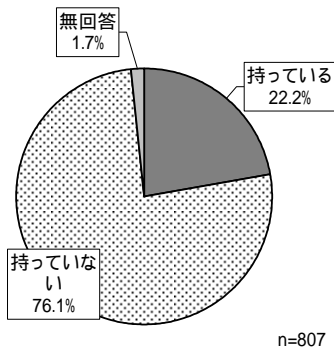


(5) 自分専用の携帯電話やPHSを持っているか

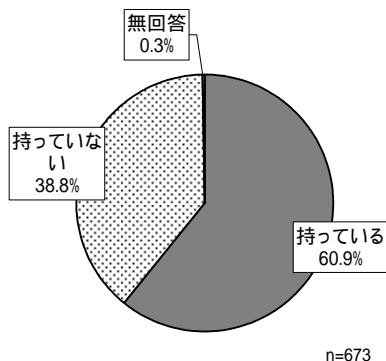
自分専用の携帯電話やPHSの所有状況を伺ったところ、小学5年生では「持っている」は2割強にとどまったが、中学2年生では6割強を占めた。

図表 11-16 自分専用の携帯電話やPHSを持っているか

【小学5年生】



【中学2年生】

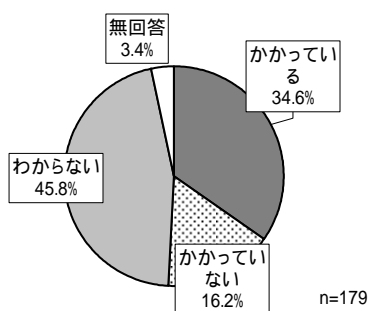


(6) 携帯等にフィルタリングはかかっているか

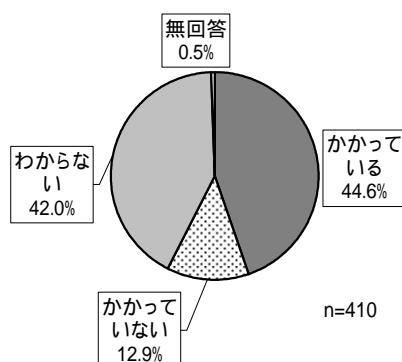
フィルタリング機能について伺ったところ、小学5年生では「わからない」が45.8%と最も多く、「かかっている」は3割強にとどまった。中学2年生では、「かかっている」と「わからない」がそれぞれ4割強を占めた。

図表 11-17 携帯等にフィルタリングはかかっているか

【小学5年生】



【中学2年生】

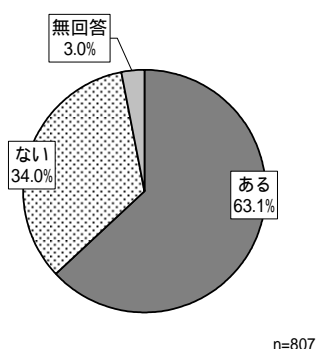


(7) 家に帰ったあと、一人で家にいることがあるか

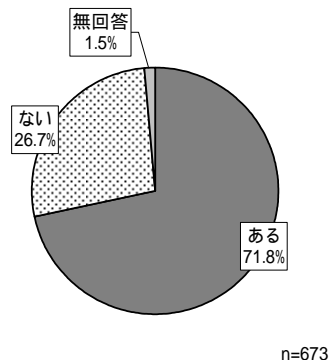
一人で家にいる時間について伺ったところ、「ある」は小学5年生では63.1%、中学2年生では71.8%となった。

図表 11-18 家に帰ったあと、一人で家にいることがあるか

【小学5年生】

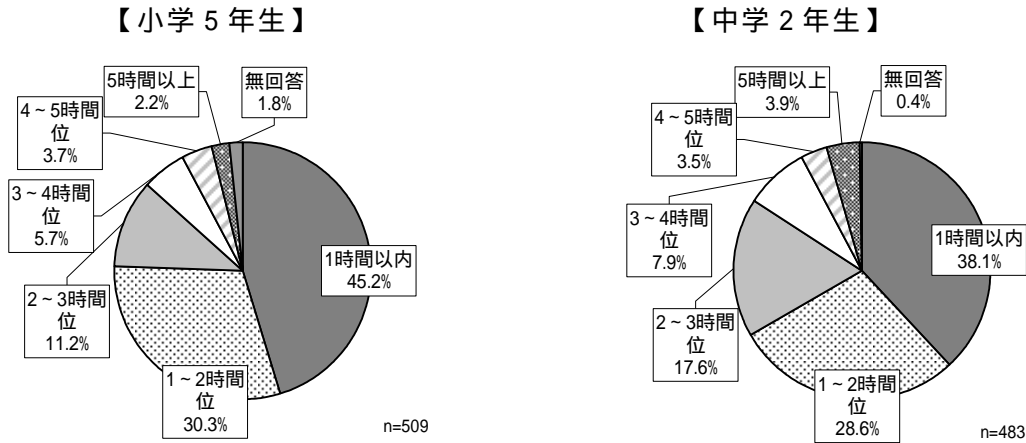


【中学2年生】



また、一人で家にいる時間について伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「1時間以内」、「1～2時間以内」で半数を上回った。中学2年生では「2時間以上」と回答した割合も2割強を占め、一人で家にいる時間は中学生で長くなる傾向にある。

図表 11-19 一人で家にいる時間

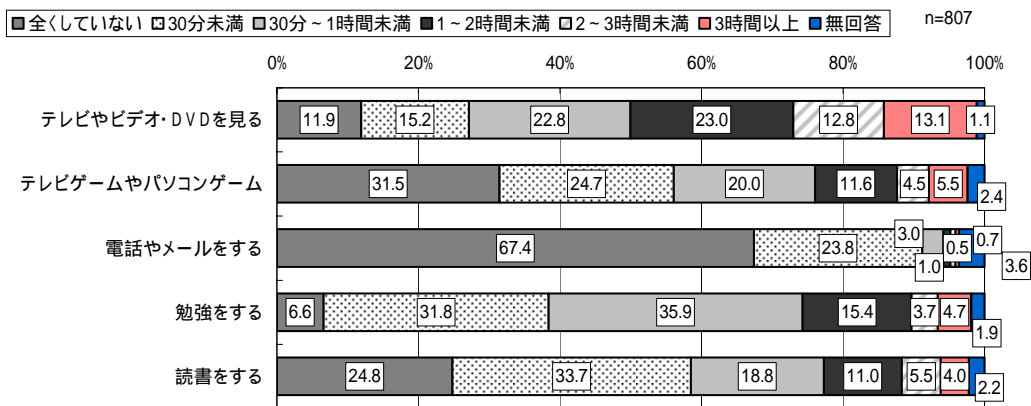


(8) 学校から帰った後の過ごし方

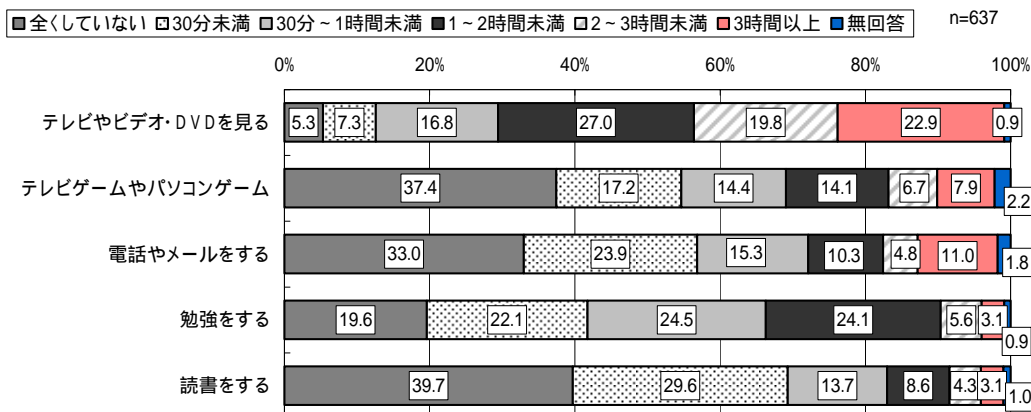
学校から帰った後の過ごし方について伺ったところ、中学2年生では小学5年生に比べ「テレビやビデオ・DVDを見る」、「電話やメールをする」と回答した割合が高い。特に、中学2年生では「テレビやビデオ・DVDを見る」で「3時間以上」が2割強を占めるなど、一日の視聴時間が長いことも特徴的である。

図表 11-20 学校から帰った後の過ごし方

【小学5年生】



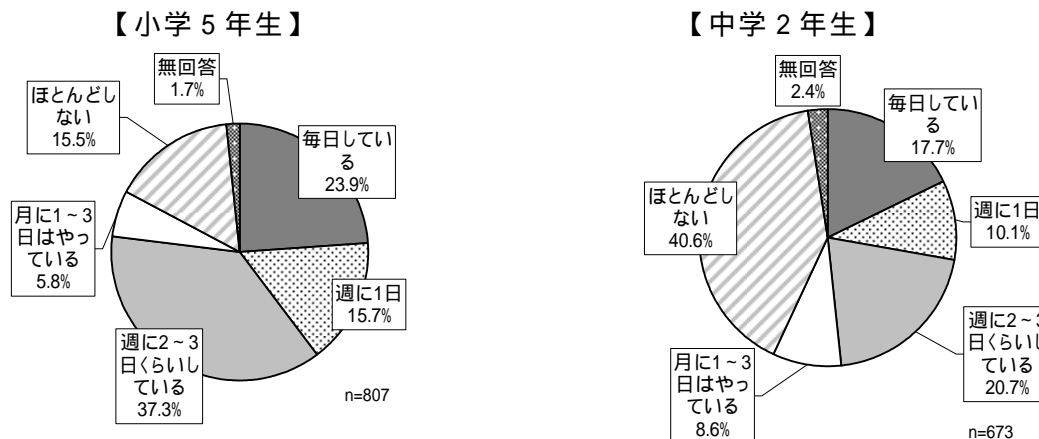
【中学2年生】



(9) 学校の授業や部活動以外に運動やスポーツをしているか

学校の授業や部活動以外の運動状況について伺ったところ、小学5年生では「週に2~3日くらいしている」が37.3%、中学2年生では「ほとんどしていない」が40.6%と最も高くなった。

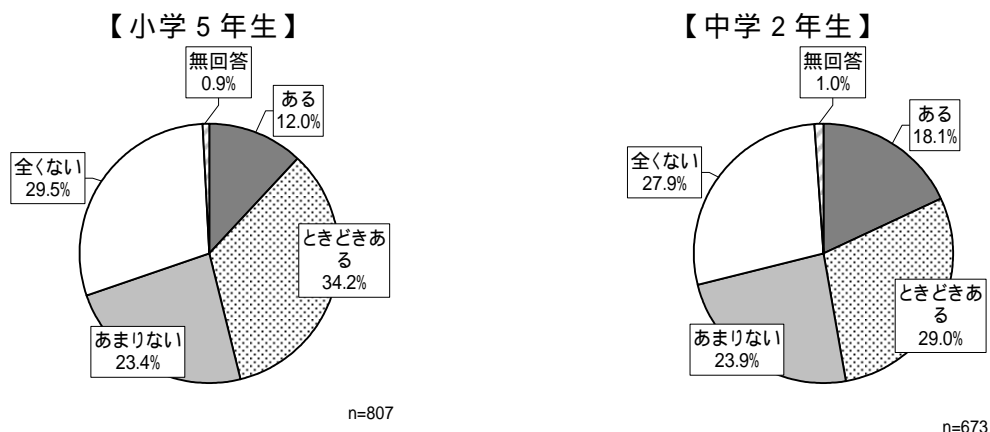
図表 11-21 学校の授業や部活動以外に運動やスポーツをしているか



(10) 心配事や悩みがあるか

心配事や悩み事の有無について伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「ある」（「ある」+「ときどきある」）が半数弱を占めた。

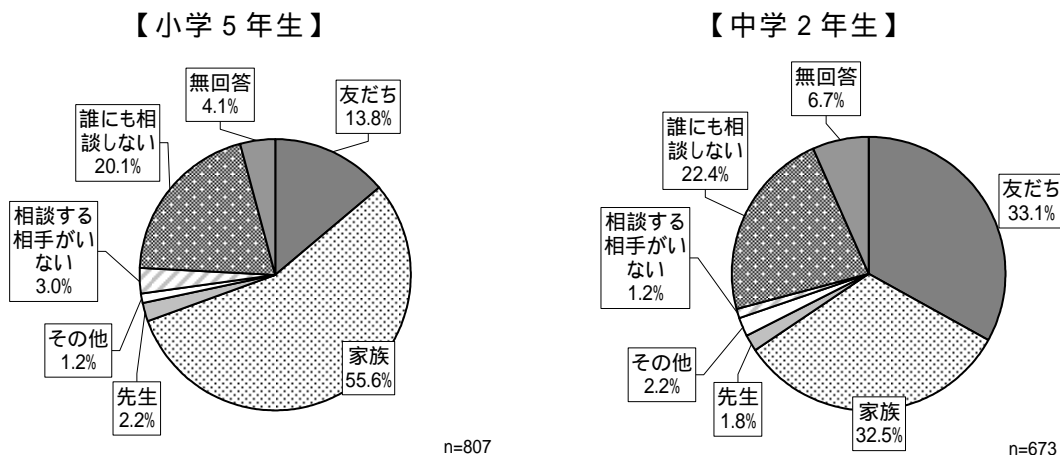
図表 11-22 心配事や悩みがあるか



(11) 心配事や悩みを誰に相談するか

心配事や悩み事の相談相手を伺ったところ、小学5年生では「家族」が55.6%、中学2年生では「友達」が33.1%と最も高くなった。

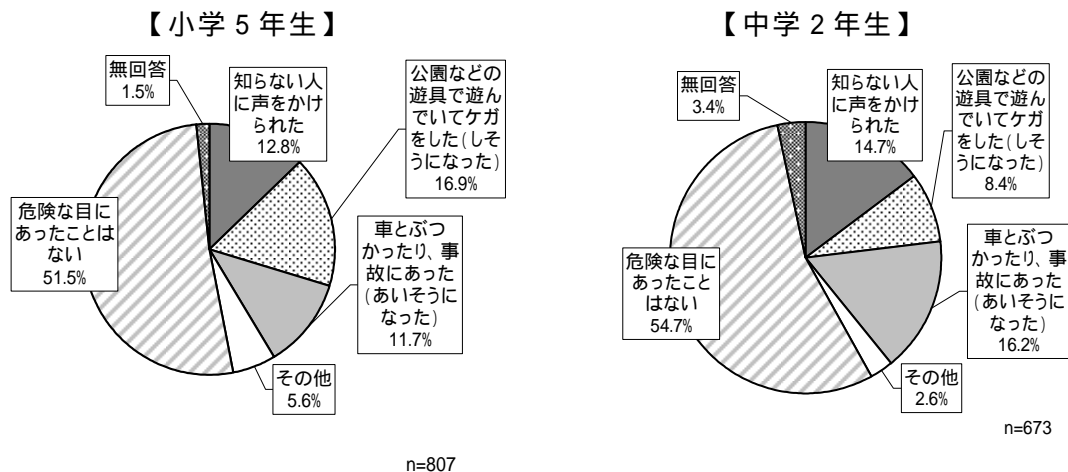
図表 11-23 心配事や悩みを誰に相談するか



(12) 学校の行き帰りに危険な目にあったことがあるか

学校の行き帰りに危険な目にあったことがあるか伺ったところ、小学 5 年生・中学 2 年生ともに「危険な目にあったことはない」が半数を上回った。また、「危険な目にあったことがある」と回答したうち、小学 5 年生では「公園などの遊具で遊んでいてケガをした(しそうになった)」、中学 2 年生では「車とぶつかったり、事故にあった(あいそうになった)」が最も高くなった。

図表 11-24 学校の行き帰りに危険な目にあったことがあるか



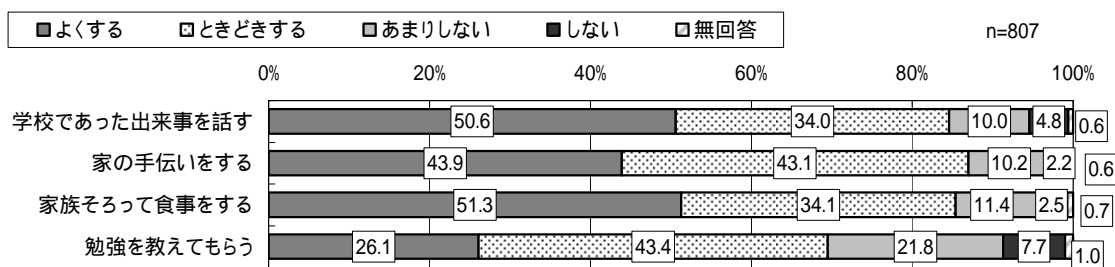
4 . 地域や家庭について

(1) 家での過ごし方

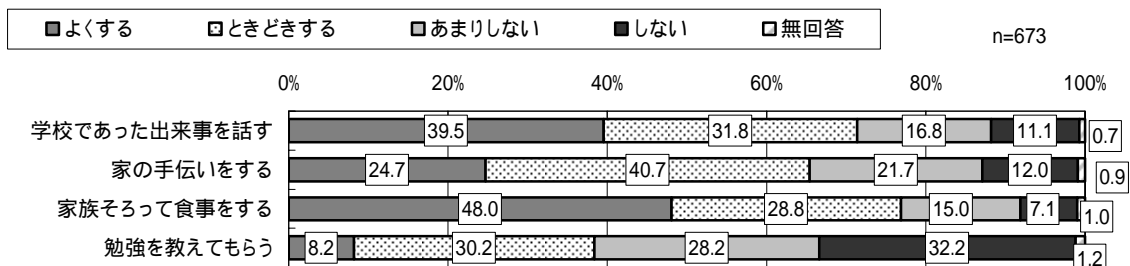
家での過ごし方を伺ったところ、小学 5 年生では「学校であった出来事を話す」、「家族そろって食事をする」で「よくする」が半数を上回ったが、中学 2 年生では全ての項目で半数を下回った。小学 5 年生の方が家族と話したり、勉強を教えんでもらう機会が多いことがうかがえる。

図表 11-25 家での過ごし方

【小学 5 年生】



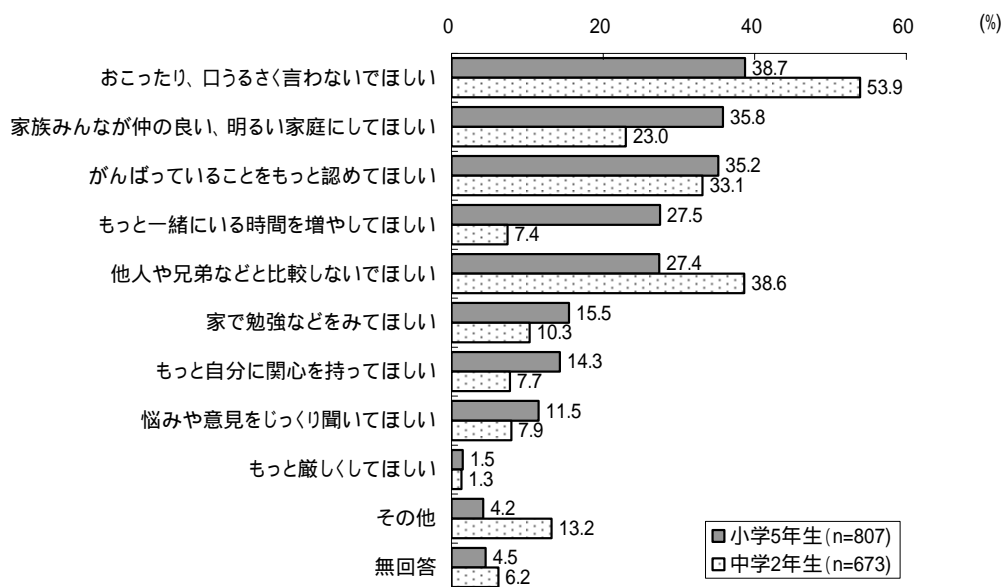
【中学 2 年生】



(2) 親や家族に対して望むこと

親や家族に対して望むことを伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「おこったり、口うるさく言わないでほしい」が最も高く、中学2年生では半数を上回った。次いで小学5年生では「家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい」、中学2年生では、「他人や兄弟などと比較しないでほしい」などとなった。

図表 11-26 親や家族に対して望むこと

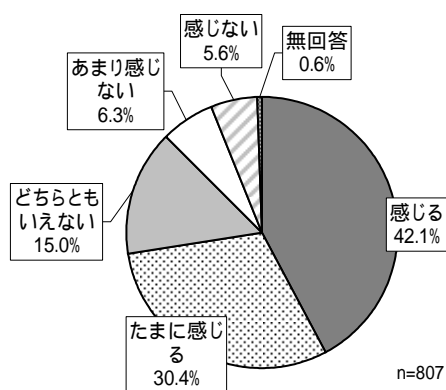


(3) 地域の大人が見守っていると感じているか

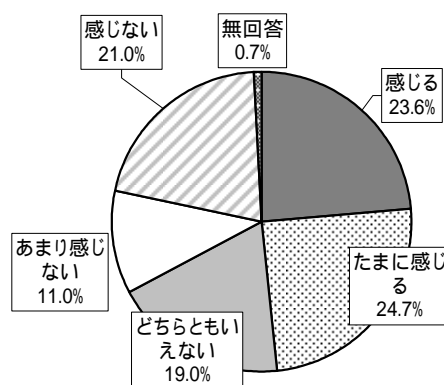
地域の大人が見守っていると感じているかを伺ったところ、小学5年生では“感じる”（「感じる」+「たまに感じる」）が半数を上回ったが、中学2年生では半数弱にとどまった。

図表 11-27 地域の大人が見守っていると感じているか

【小学5年生】



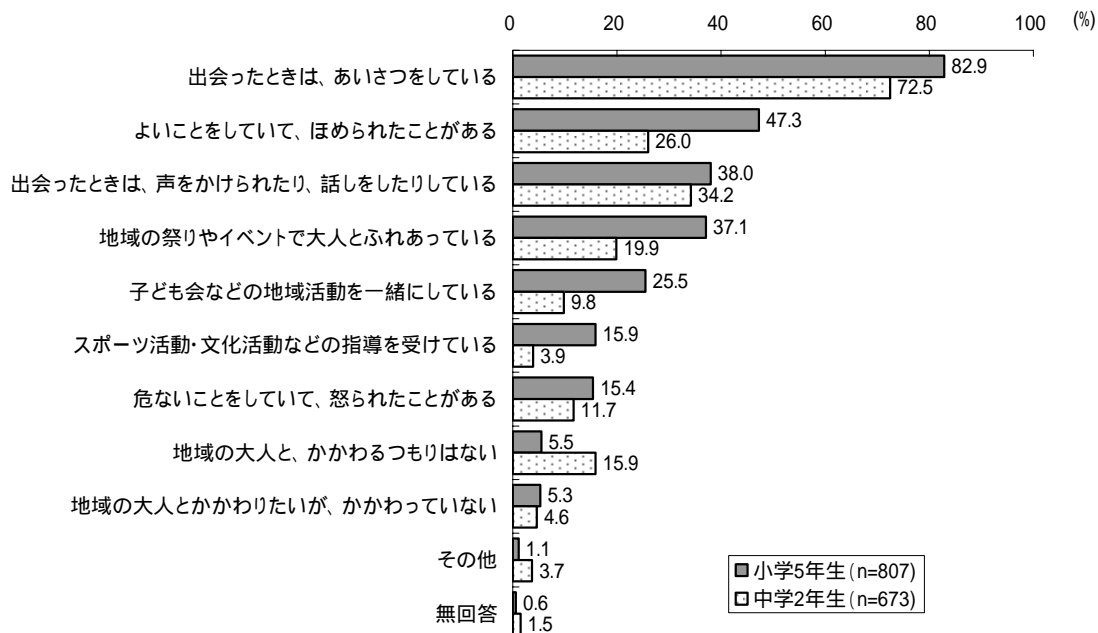
【中学2年生】



(4) ふだん地域の大人とどのように接しているか

ふだん地域の大人とどのように接しているかを伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「出会ったときはあいさつをしている」が最も高く7割を上回った。小学5年生では「よいことをして、ほめられたことがある」、「地域の祭りやイベントで大人とふれあっている」、「子ども会などの地域活動を一緒にしている」で中学2年生を15ポイント以上、上回った。

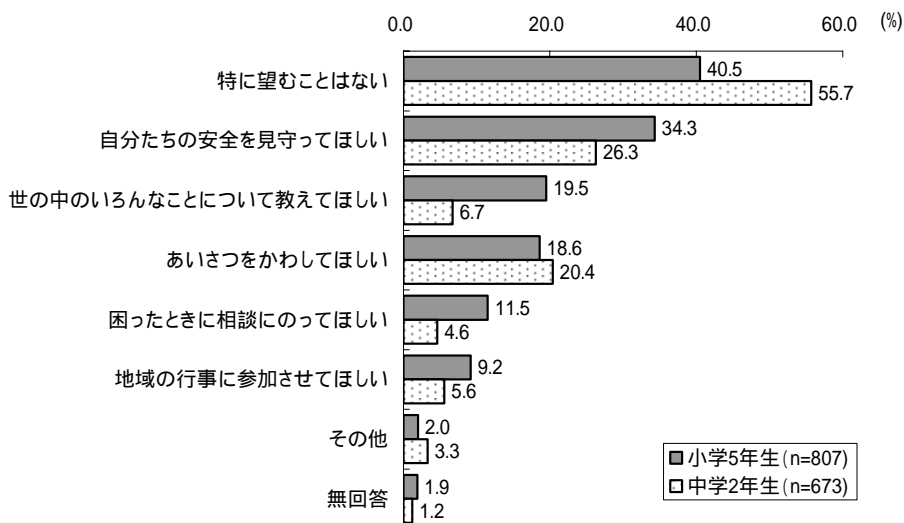
図表 11-28 ふだん地域の大人とどのように接しているか



(5) 地域の大人に望むこと

地域の大人に望むことを伺ったところ、小学5年生・中学2年生ともに「特に望むことはない」が最も高く、中学2年生では半数を上回った。小学5年生では「世の中のいろんなことについて教えてほしい」で中学2年生を10ポイント以上、上回った。

図表 11-29 地域の大人に望むこと

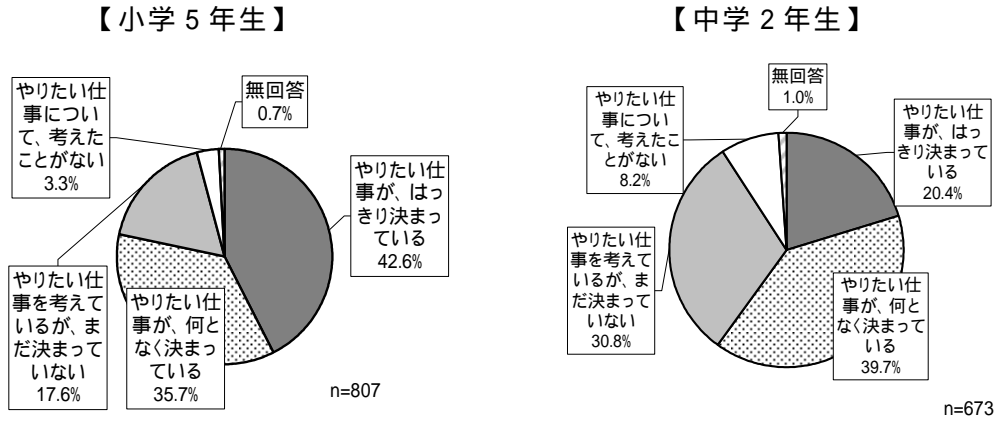


5. 将来について

(1) 将来やりたい仕事はあるか

将来やりたい仕事はあるか伺ったところ、小学5年生では「はっきり決まっている」、中学2年生では「何となく決まっている」が最も高く4割前後を占めた。

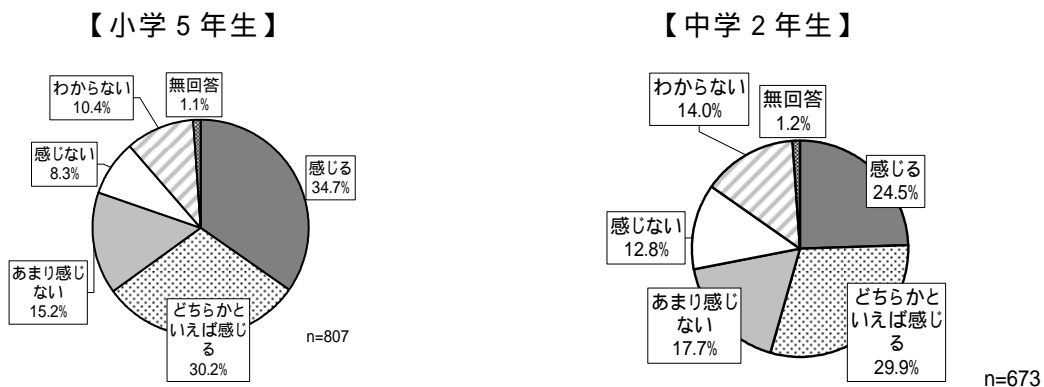
図表 11-30 将来やりたい仕事はあるか



(2) 四街道市を「ふるさと」と感じるか

四街道市を「ふるさと」と感じるか伺ったところ、小学5年生では「感じる」(「感じる」+「どちらかといえば感じる」)が6割を上回ったが、中学2年生では半数強にとどまった。

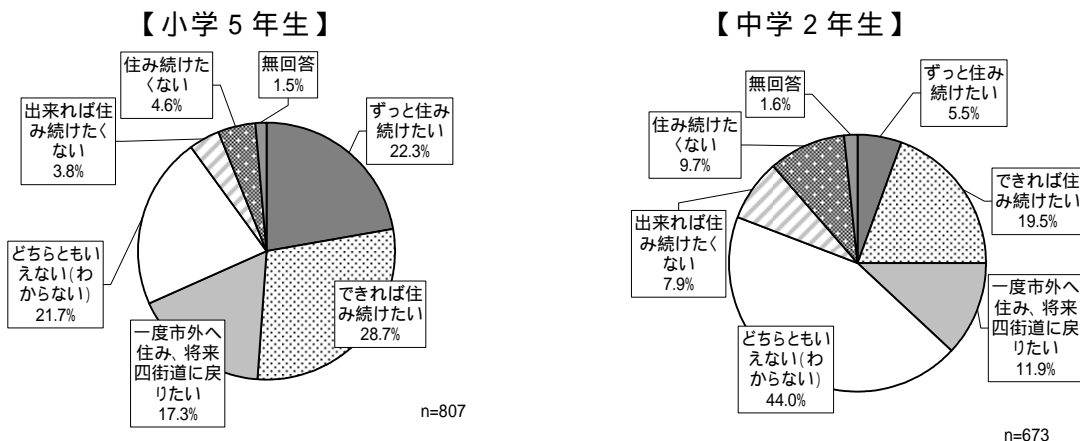
図表 11-31 四街道市を「ふるさと」と感じるか



(3) 四街道市に住み続けたいか

四街道市に住み続けたいか伺ったところ、「住み続けたい」(「ずっと住み続けたい」+「できれば住み続けたい」)は、小学5年生で半数強を占めたが、中学2年生では2割強にとどまった。

図表 11-32 四街道市に住み続けたいか



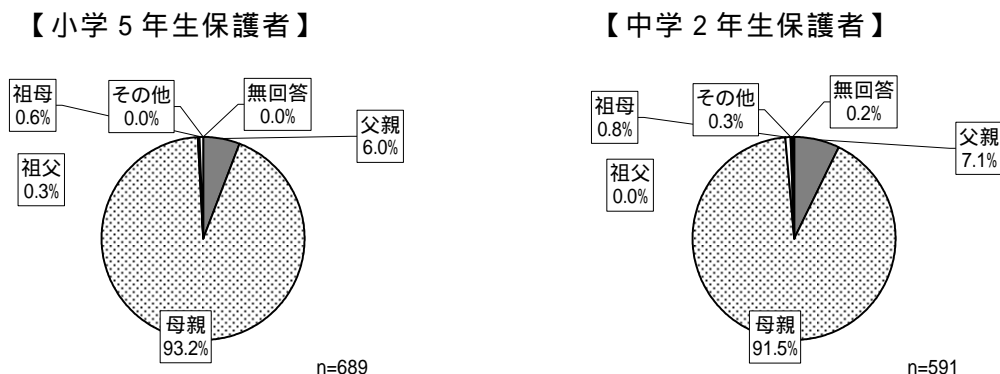
III. 調査結果の分析（小学5年生保護者・中学2年生保護者）

1. 回答者の属性

(1) 子どもとの続柄

回答者の子どもとの続柄をみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「母親」が9割を上回った。

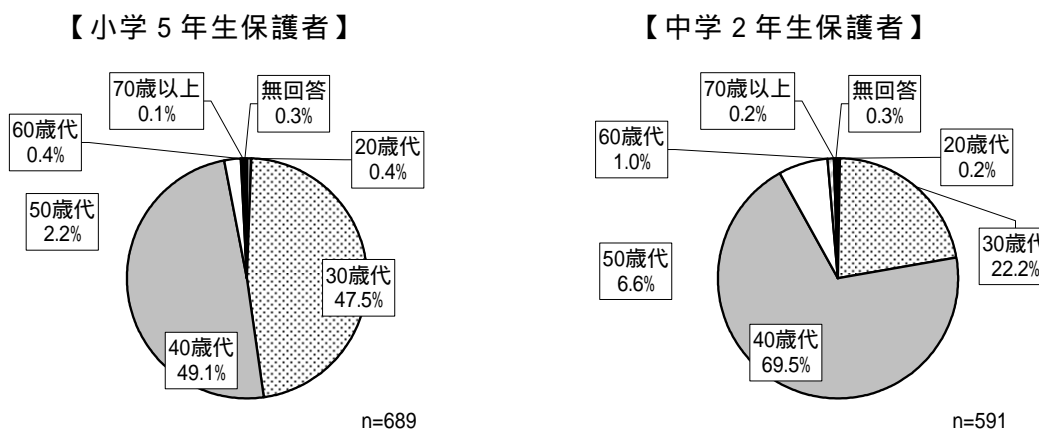
図表 III-1 子どもとの続柄



(2) 年齢

回答者の年齢をみると、小学5年生保護者では「40歳代」、「30歳代」で半数前後を占めたが、中学2年生保護者では「40歳代」で約7割を占めた。

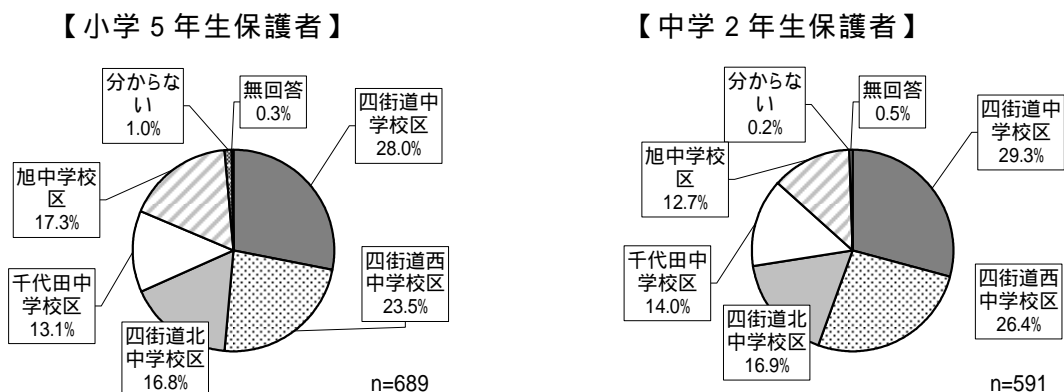
図表 III-2 年齢



(3) 居住地区（中学校区）

回答者の居住地区（中学校区）をみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「四街道中学校地区」と「四街道西中学校地区」の割合が高く、両者を合わせるとほぼ半数を占めた。

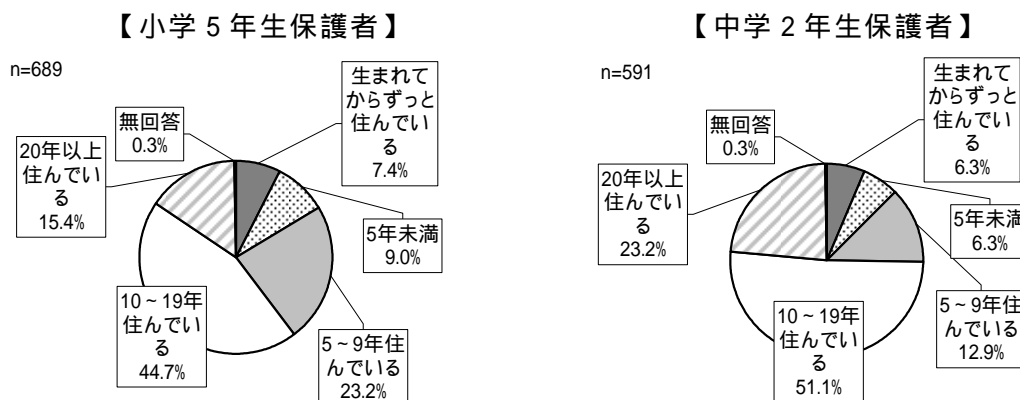
図表 III-3 居住地区（中学校区）



(4) 居住年数

回答者の居住年数をみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「10～19年住んでいる」が最も高く半数前後を占めた。

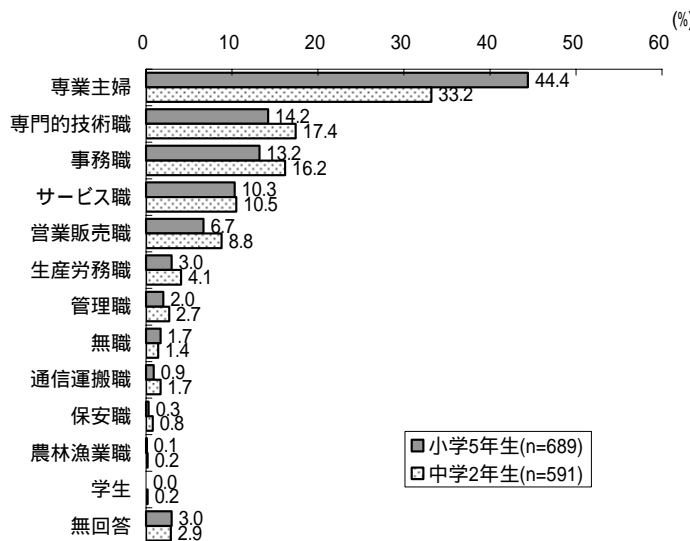
図表 III-4 居住年数



(5) 職業

回答者の職業をみると、「専業主婦」では小学5年生保護者が中学2年生保護者を10ポイント以上、上回った。中学2年生保護者では就労している割合が増加した。

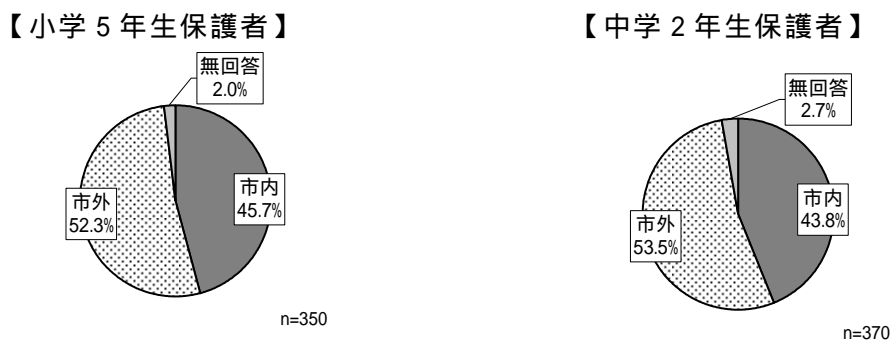
図表 III-5 職業



(6) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先をみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「市外」が半数をやや上回った。

図表 III-6 通勤・通学先

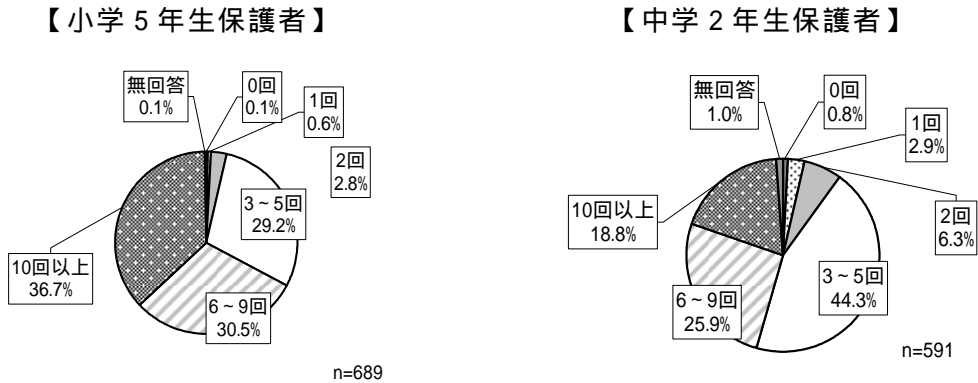


2. 学校との関わりについて

(1) 子どもの学校に行った回数（過去1年間）

過去1年間に子どもの学校に行った回数を伺ったところ、小学5年生保護者では「10回以上」が36.7%、中学2年生保護者では「3～5回」が44.3%と最も高くなった。

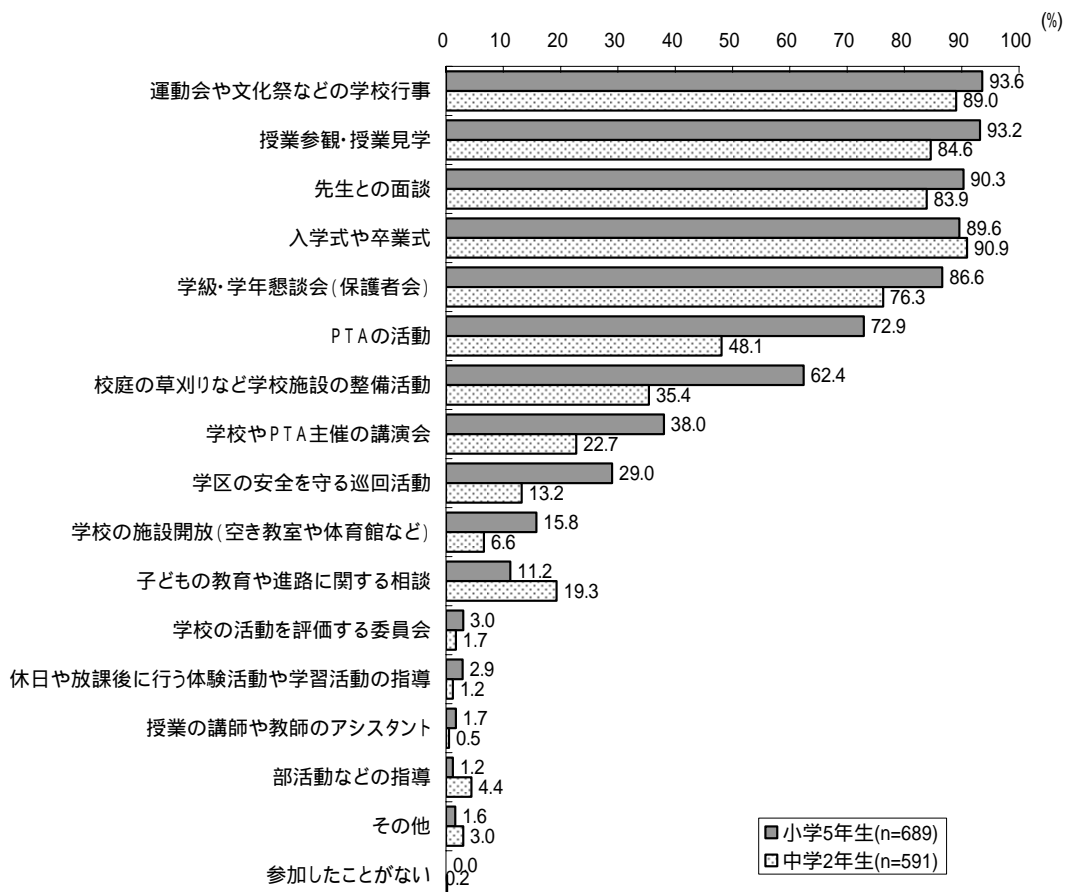
図表 III-7 子どもの学校に行った回数（過去1年間）



(2) 出席・参加したことがある学校行事

出席・参加したことがある学校行事を伺ったところ、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「運動会や文化祭などの学校行事」、「入学式や卒業式」で9割前後を占めた。「学級・学年懇談会（保護者会）」、「PTAの活動」、「校庭の草刈りなど学校施設の整備活動」では、小学5年生保護者が中学2年生保護者を10ポイント以上、上回った。

図表 III-8 出席・参加したことがある学校行事

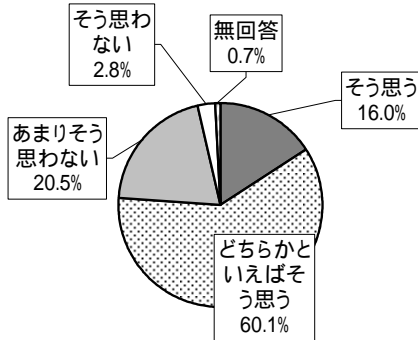


(3) 学校行事へ参加したり、先生に協力したいと思うか

学校行事への参加意向について伺ったところ、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに“そう思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が7割前後を占めた。

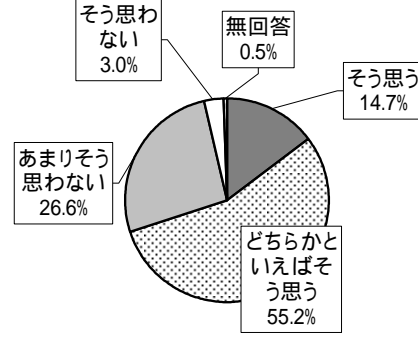
図表 III-9 学校行事へ参加したり、先生に協力したいと思うか

【小学5年生保護者】



n=689

【中学2年生保護者】

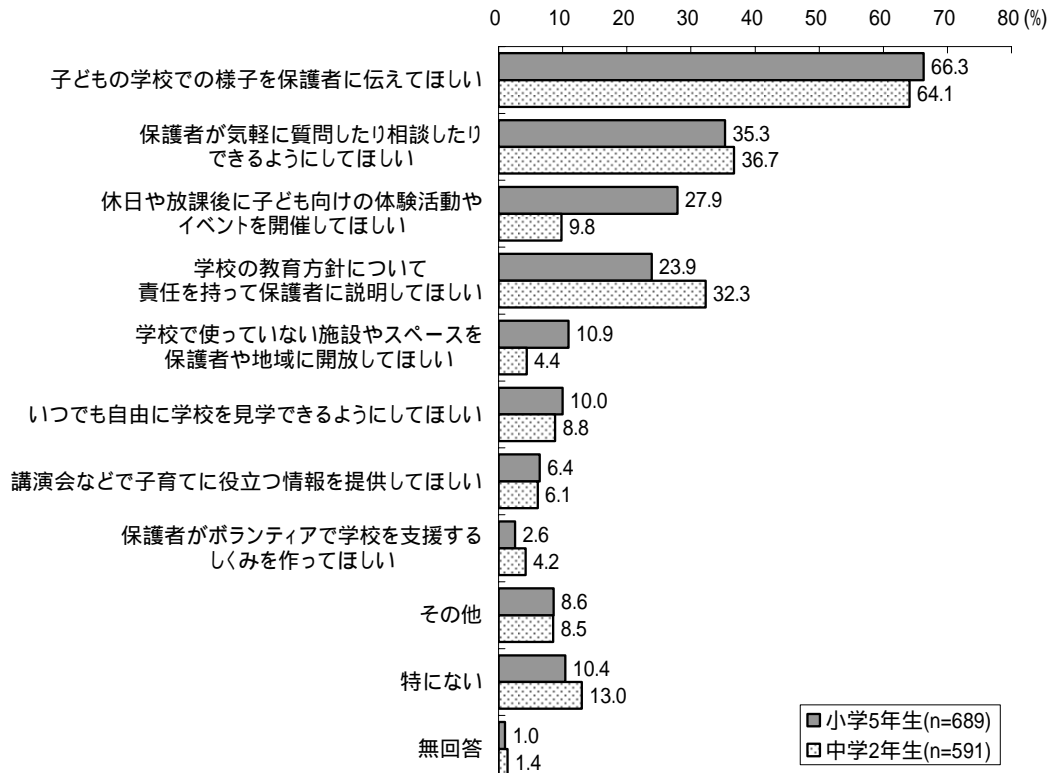


n=591

(4) 子どもが通う学校に対して望むこと

学校への要望を伺ったところ、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「子どもの学校での様子を保護者に伝えてほしい」が最も高く6割を上回った。「休日や放課後に子ども向けの体験活動やイベントを開催してほしい」では、小学5年生保護者が中学2年生保護者を20ポイント近く上回ったが、「学校の教育方針について責任を持って保護者に説明してほしい」では中学2年生保護者で割合が高くなった。

図表 III-10 子どもが通う学校に対して望むこと



3. 子どもたちへの教育について

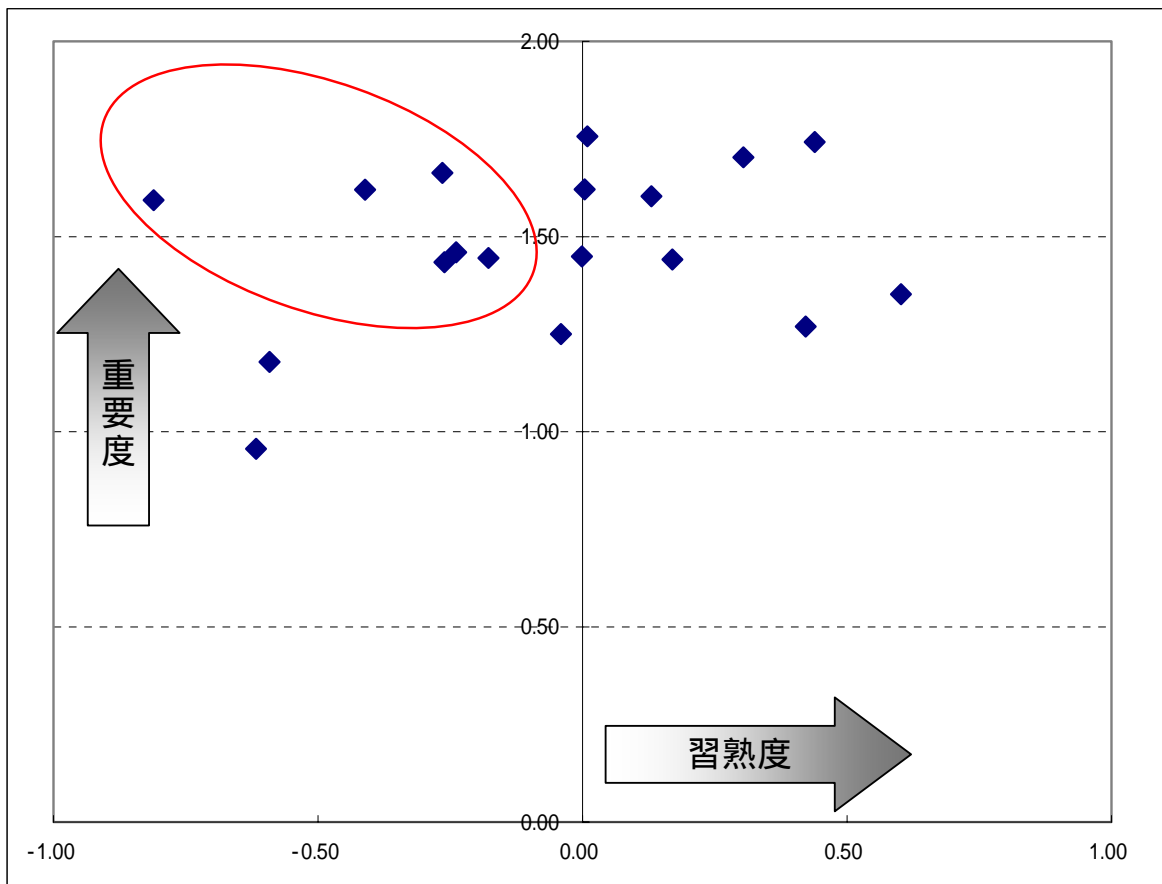
(1) 四街道市の学校教育について

四街道市の学校教育について、各項目を指数化し、「(重要度)重要だと思うこと」および「(習熟度)身につけているか」の評価分布をみると、「重要度が高く身につけていないもの」は、「(2)英語を聞いたり、話したりする力」、「(6)生き方や進路について考える力」、「(8)自ら学び、考え、主体的に行動する力」などとなった。

指数化

- ・重要度：重要である×(2) + どちらかといえば重要×(1) + あまり重要ではない×(-1) + 重要ではない×(-2) + わからない×(0) + 無回答×(0)
- ・習熟度：身につけている×(2) + どちらかといえば身につけている×(1) + あまり身につけていない×(-1) + 身につけていない×(-2) + わからない×(0) + 無回答×(0)

図表 III-11 四街道市の学校教育について

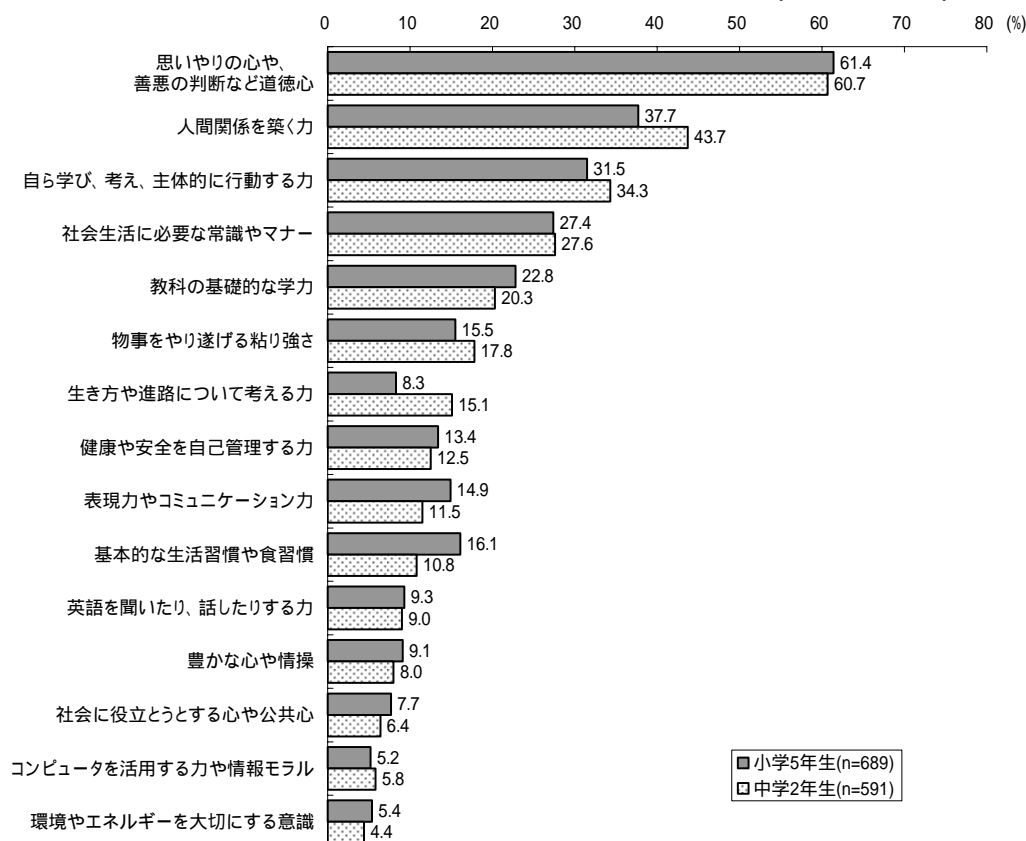


No	項目	習熟度	重要度	No	項目	習熟度	重要度
	コンピューターを活用する力や情報モラル	-0.04	1.25		表現力やコミュニケーション力	-0.18	1.45
	英語を聞いたり、話したりする力	-0.81	1.59		豊かな心や情操	0.00	1.45
	環境やエネルギーを大切にすること意識	-0.24	1.46		思いやりの心や、善悪の判断など道徳心	0.44	1.74
	健康や安全を自己管理する力	0.17	1.44		物事をやり遂げる粘り強さ	0.00	1.62
	基本的な生活習慣や食習慣	0.42	1.27		社会生活に必要な常識やマナー	0.13	1.60
	生き方や進路について考える力	-0.41	1.62		社会に役立つ心や公共心	-0.26	1.43
	教科の基礎的な学力	0.01	1.76		伝統や文化を大切にし、郷土や国を愛する心	-0.62	0.96
	自ら学び、考え、主体的に行動する力	-0.27	1.66		体力や運動能力	0.60	1.35
	新しいものを生み出す創造的な力	-0.59	1.18		人間関係を築く力	0.30	1.70

(2) 四街道市の学校教育について、特に重要だと思うこと

学校教育で特に重要だと思うことについて上位 15 項目をみると、小学 5 年生保護者・中学 2 年生保護者ともに「(12)思いやりの心や、善悪の判断など道徳心」が最も高く 6 割を上回った。「(18)人間関係を築く力」では、中学 2 年生保護者が小学 5 年生保護者を 5 ポイント以上、上回った。

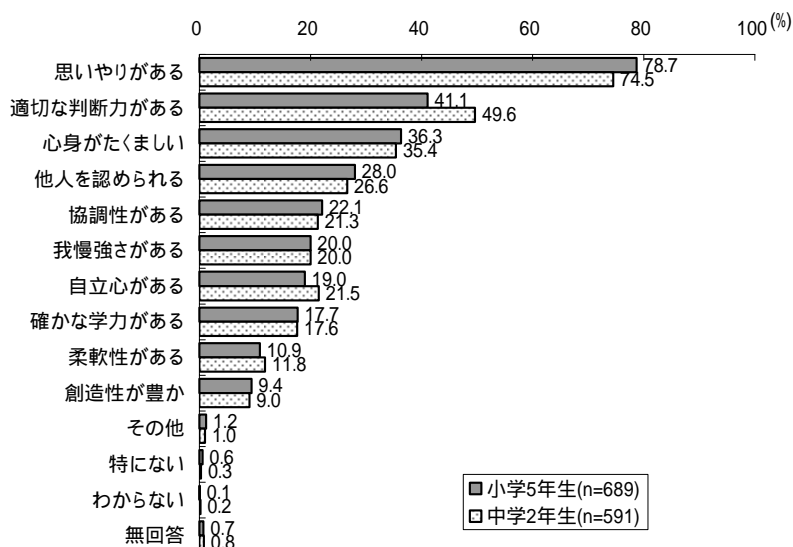
図表 III-12 学校教育で特に重要だと思うこと（上位 15 項目）



(3) 四街道市の子どもたちにどのような子どもになってほしいか

四街道市の子どもたちにどのような子どもになってほしいか伺ったところ、小学 5 年生保護者・中学 2 年生保護者ともに「思いやりがある」が最も高く 7 割を上回った。「適切な判断力がある」では、中学 2 年生保護者が小学 5 年生保護者を 5 ポイント以上、上回った。

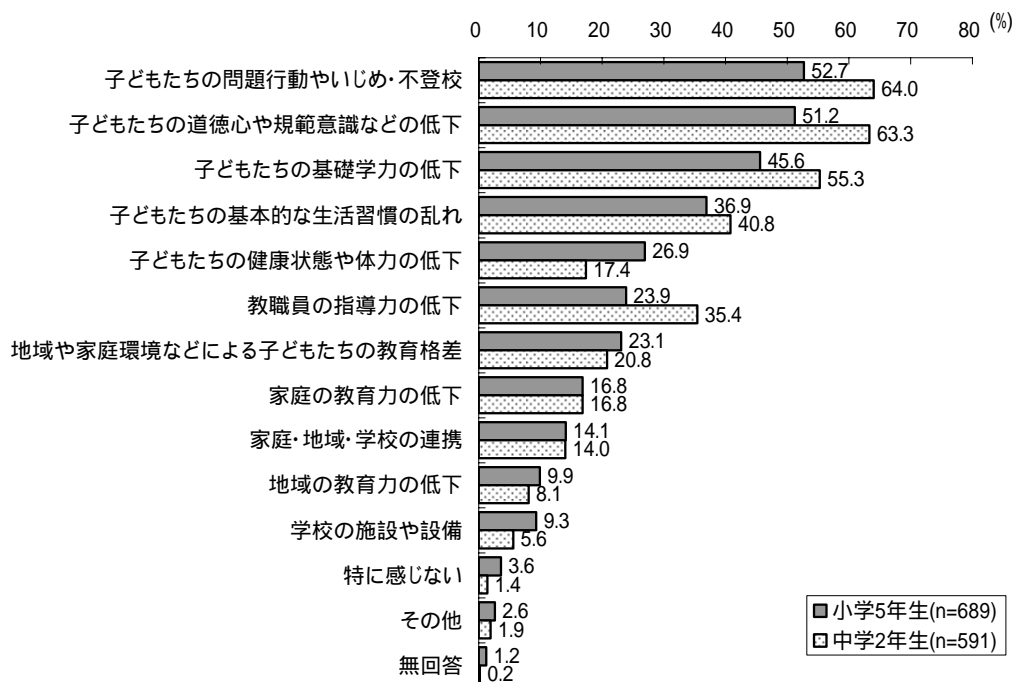
図表 III-13 どのような子どもになってほしいか



(4) 子どもたちや教育について課題と感ずること

子どもたちや教育について課題と感ずることを伺ったところ、中学2年生保護者では、多くの項目で小学5年生保護者より課題と感ずる割合が高く、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」、「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」、「子どもたちの基礎学力の低下」、「教職員の指導力の低下」で小学5年生保護者を10ポイント近く上回った。

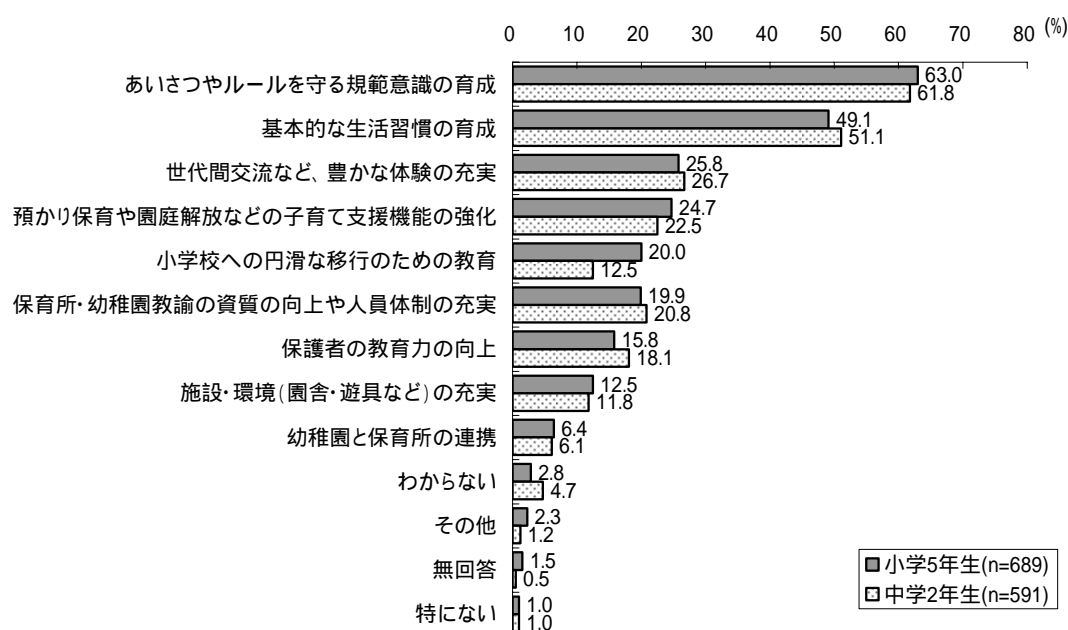
図表 III-14 子どもたちや教育について課題と感ずること



(5) 四街道市の幼児教育の充実に向けて必要なこと

幼児教育の充実に向けて必要なことを伺ったところ、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「あいさつやルールを守る規範意識の育成」、「基本的な生活習慣の育成」の2項目が他の項目を大きく上回った。

図表 III-15 幼児教育の充実に向けて必要なこと



4. 教育に関する施策全般について

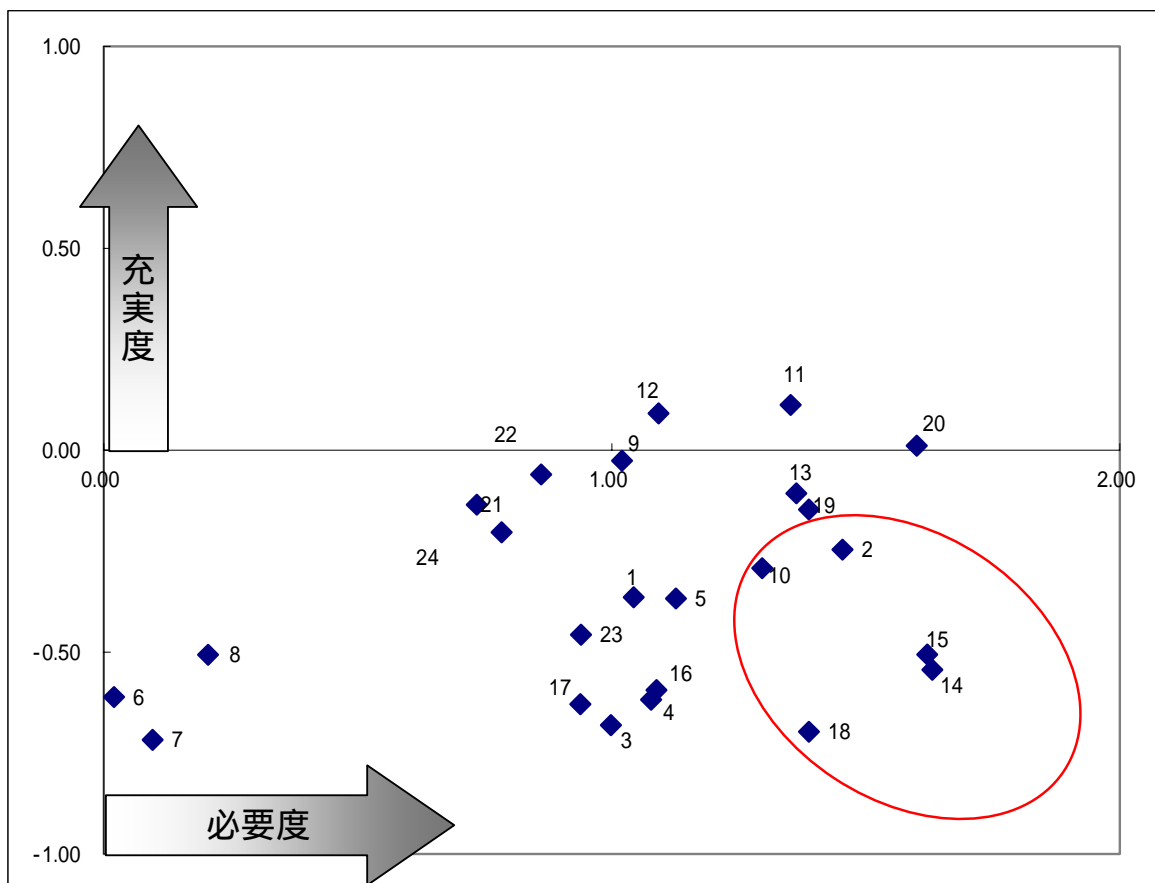
(1) 四街道市の教育施策について

四街道市の教育施策について、各項目を指数化し、「(必要度)力を入れて行う必要はあるか」および「(充実度)充実しているか」の評価分布をみると、「充実度が低く必要度が高いもの」は、「(14)いじめ・不登校の解消、相談体制等の充実」、「(15)教職員の資質や指導力の向上」、「(18)事務軽量を図り、児童・生徒と向き合う時間を確保」などとなった。

指数化

- ・必要度：必要である×(2) + どちらかといえば必要×(1) + あまり必要ではない×(-1) + 必要ではない×(-2) + わからない×(0) + 無回答×(0)
- ・充実度：充実している×(2) + どちらかといえば充実している×(1) + あまり充実していない×(-1) + 充実していない×(-2) + わからない×(0) + 無回答×(0)

図表 III-16 四街道市の教育施策について

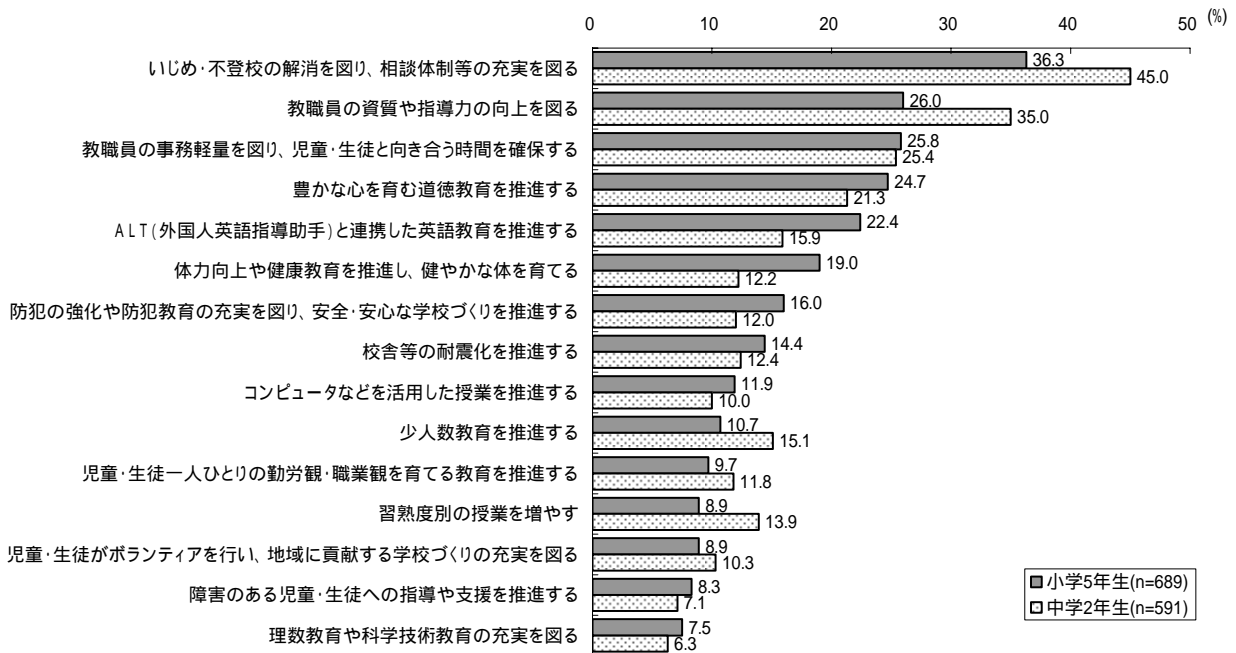


No	項目	必要度	充実度	No	項目	必要度	充実度
1	コンピューターなどを活用した授業の推進	1.04	-0.36	13	障害のある児童・生徒への指導や支援を推進	1.36	-0.11
2	ALT(外国人英語指導助手)と連携した英語教育	1.45	-0.25	14	いじめ・不登校の解消、相談体制等の充実	1.63	-0.54
3	理数教育や科学技術教育の充実	1.00	-0.68	15	教職員の資質や指導力の向上	1.62	-0.51
4	環境やエネルギーを大切にする教育	1.08	-0.62	16	少人数教育の推進	1.09	-0.59
5	児童・生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育てる教育	1.13	-0.37	17	習熟度別の授業を増やす	0.94	-0.63
6	小学校高学年から教科担任制を導入する	0.02	-0.61	18	事務軽量を図り、児童・生徒と向き合う時間を確保	1.39	-0.70
7	小中学校の連携を推進し、さらに一貫教育を導入する	0.10	-0.72	19	防犯の強化や防犯教育の充実、安全・安心な学校づくり	1.39	-0.15
8	幼稚園、保育所と小学校の連携を推進	0.21	-0.51	20	校舎等の耐震化の推進	1.60	0.01
9	学校図書館教育、読書活動を推進	1.02	-0.03	21	学校支援ボランティアなど、家庭・地域が学校を支援するしくみの充実	0.73	-0.14
10	豊かな心を育む道徳教育の推進	1.30	-0.29	22	教育活動や運営状況を保護者や地域に発信する	0.86	-0.06
11	体力向上や健康教育の推進、健やかな体を育てる	1.35	0.11	23	児童・生徒がボランティアを行い、地域に貢献する学校づくり	0.94	-0.46
12	望ましい食習慣の形成	1.09	0.09	24	青少年の健全育成を目指し、相談活動や街頭補導活動の充実	0.78	-0.20

(2) 四街道市の教育施策について、特に必要だと思われる施策

特に必要だと思われる教育施策について上位 15 項目をみると、「(14)いじめ・不登校の解消を図り、相談体制等の充実を図る」、「(15)教職員の資質や指導力の向上を図る」では中学 2 年生保護者が小学 5 年生保護者を 10 ポイント近く上回った。小学 5 年生保護者では中学 2 年生保護者に比べ「(2)ALT と連携した英語教育の推進」、「(11)体力向上や健康教育を推進し、健やかな体を育てる」などで割合が高く、英語教育や体力づくりに関する要望も高いことがうかがえる。

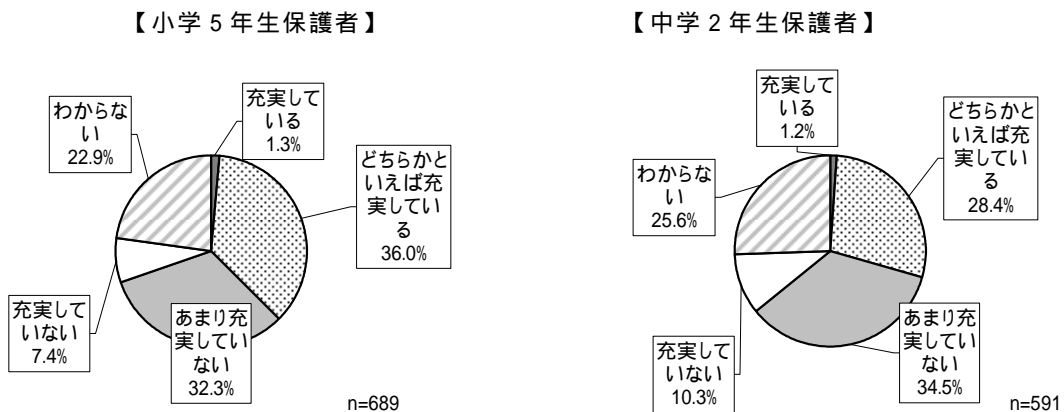
図表 III-17 特に必要だと思われる施策（上位 15 項目）



(3) 四街道市の学校教育施策が充実していると思うか

四街道市の学校教育施策が充実していると思うか伺ったところ、小学 5 年生保護者では“充実している”(「充実している」+「どちらかといえば充実している」)は 37.3%と 4 割弱を占めたが、中学 2 年生保護者では 3 割弱にとどまった。

図表 III-18 四街道市の学校教育施策が充実していると思うか



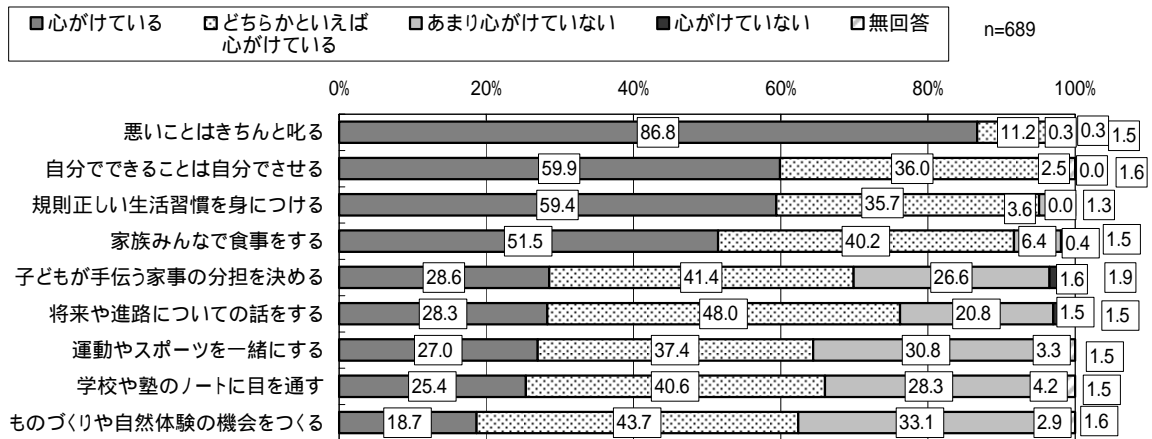
5. 家庭教育について

(1) 家庭での子どもとの関わりについて

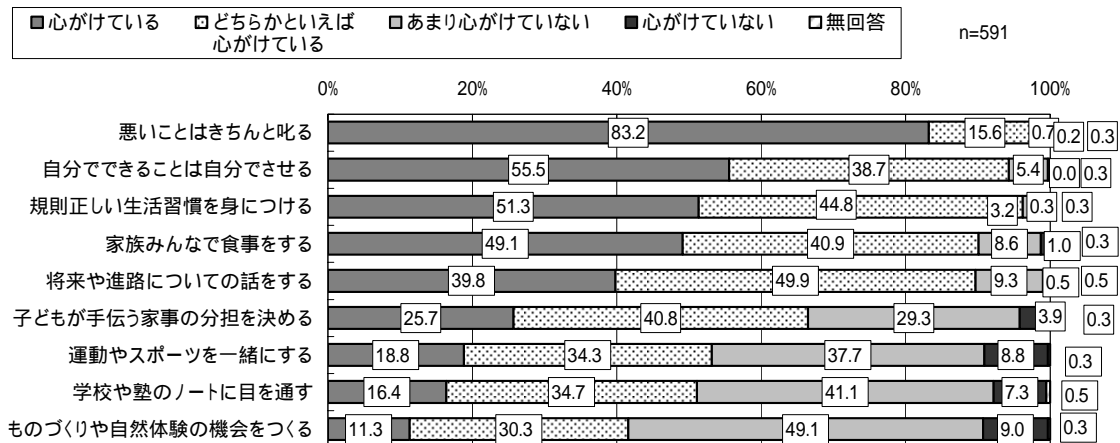
家庭での子どもとの関わりについて伺ったところ、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「悪いことはきちんと叱る」、「自分でできることは自分でさせる」、「規則正しい生活習慣を身につける」で「心がけている」が半数を上回った。「学校や塾のノートに目を通す」、「ものづくりや自然体験の機会をつくる」では、中学2年生保護者で「あまり心がけていない」が4割を上回った。

図表 III-19 家庭での子どもとの関わりについて

【小学5年生保護者】



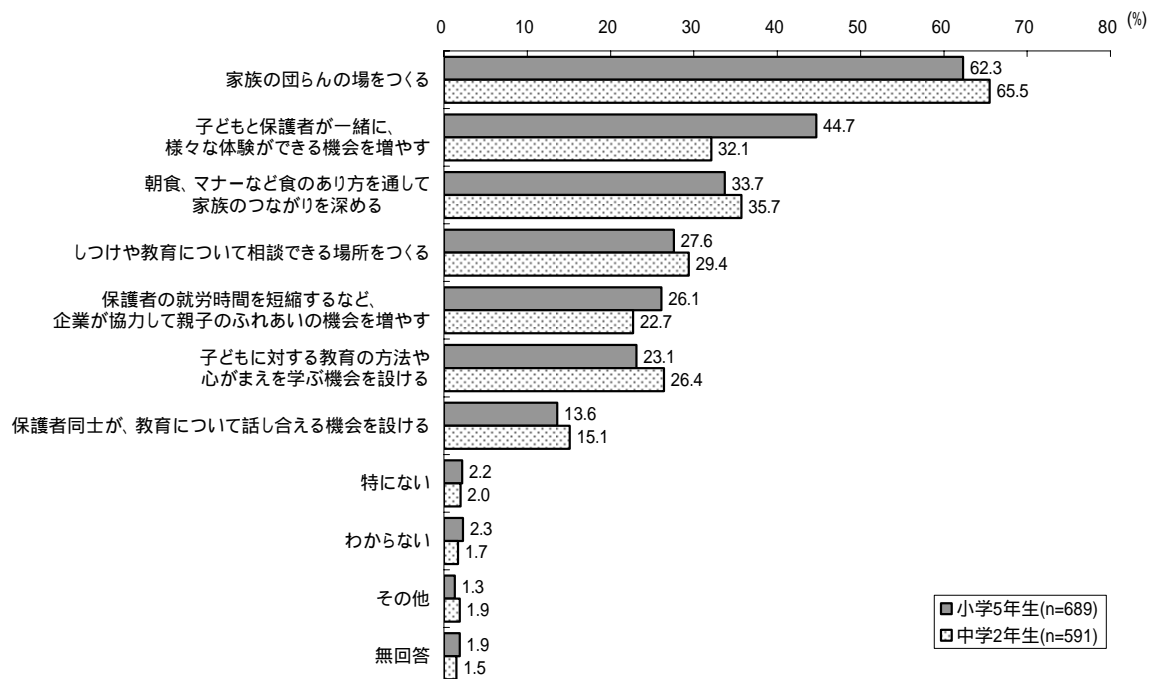
【中学2年生保護者】



(2) 家庭教育で必要な取り組み

家庭教育で必要な取り組みについて伺ったところ、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「家族の団らんの場をつくる」が他の項目を大きく上回り6割強を占めた。

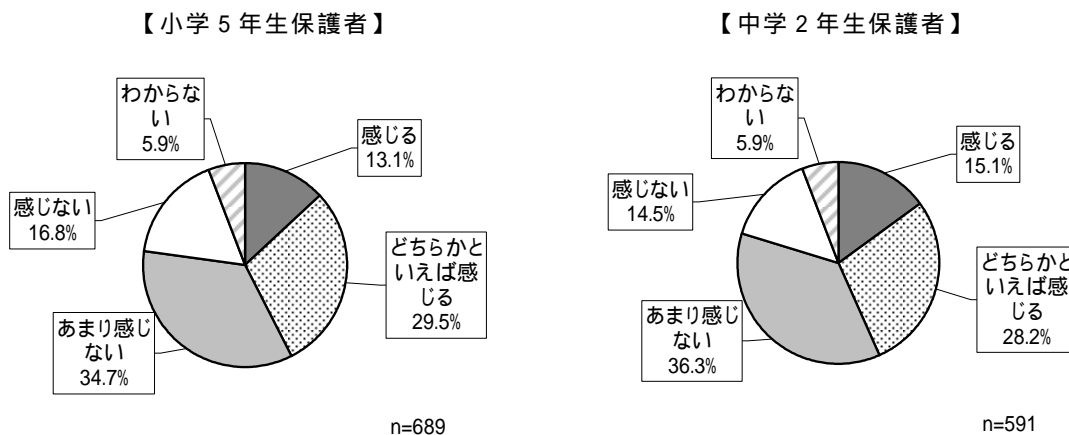
図表 III-20 家庭教育で必要な取り組み



(3) 四街道市を「ふるさと」と感じるか

四街道市を「ふるさと」と感じるか伺ったところ、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに“感じない”(「あまり感じない」+「感じない」)が半数を上回った。児童・生徒調査では“感じる”(「感じる」+「どちらかといえば感じる」)と半数強が回答したのに対し、保護者調査では、「ふるさと」と感じていない割合が高くなった。

図表 III-21 四街道市を「ふるさと」と感じるか

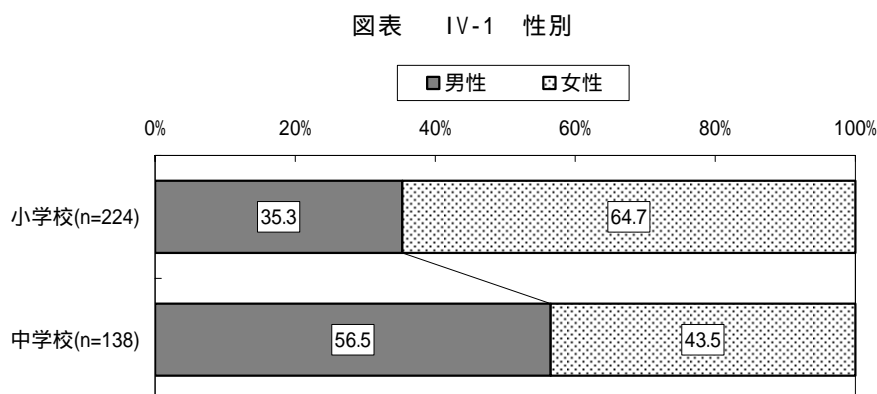


IV. 調査結果の分析（教職員）

1. 回答者の属性

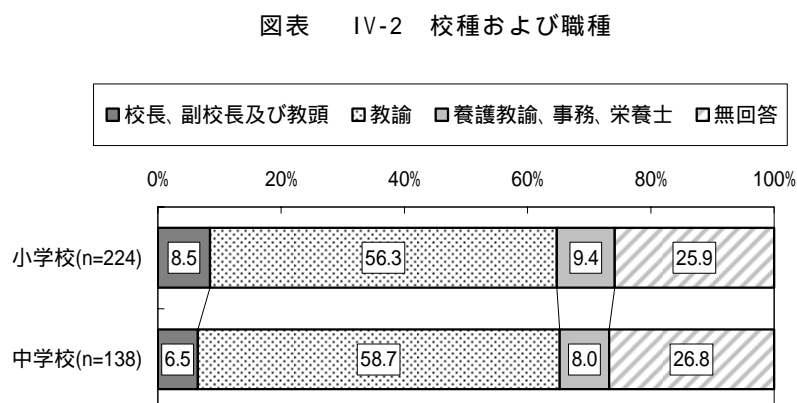
(1) 性別

回答者の男女別をみると、小学校では女性が6割強を占めたが、中学校では男性が半数を上回った。



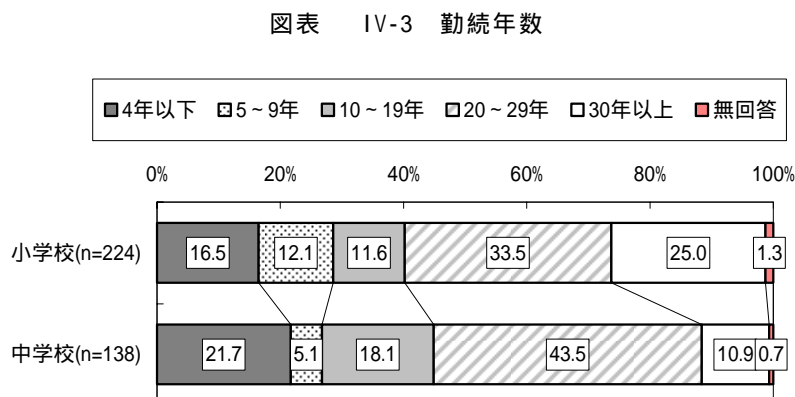
(2) 校種および職種

回答者の校種および職種をみると、小学校・中学校ともに「教諭」が最も高く6割弱を占めた。



(3) 勤続年数

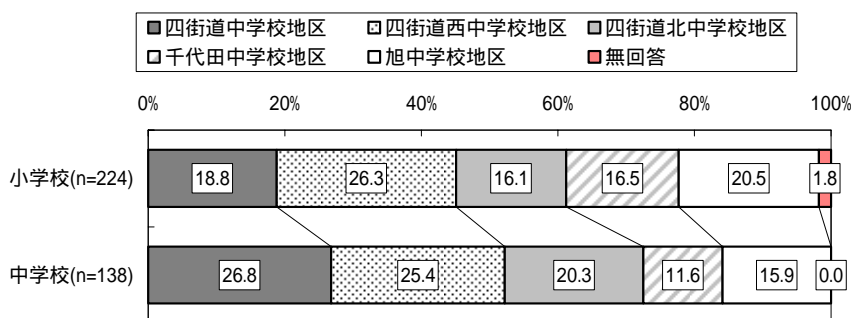
回答者の勤続年数をみると、小学校では中学校に比べ「30年以上」と回答した割合が高く、中学校では小学校に比べ「20～29年」と回答した割合が高い。



(4) 勤務している中学校区

回答者の勤務している中学校区をみると、小学校では「四街道西中学校区」が最も高く 26.3%、中学校では「四街道中学校区」が最も高く 26.8%となった。

図表 IV-4 勤務している中学校区

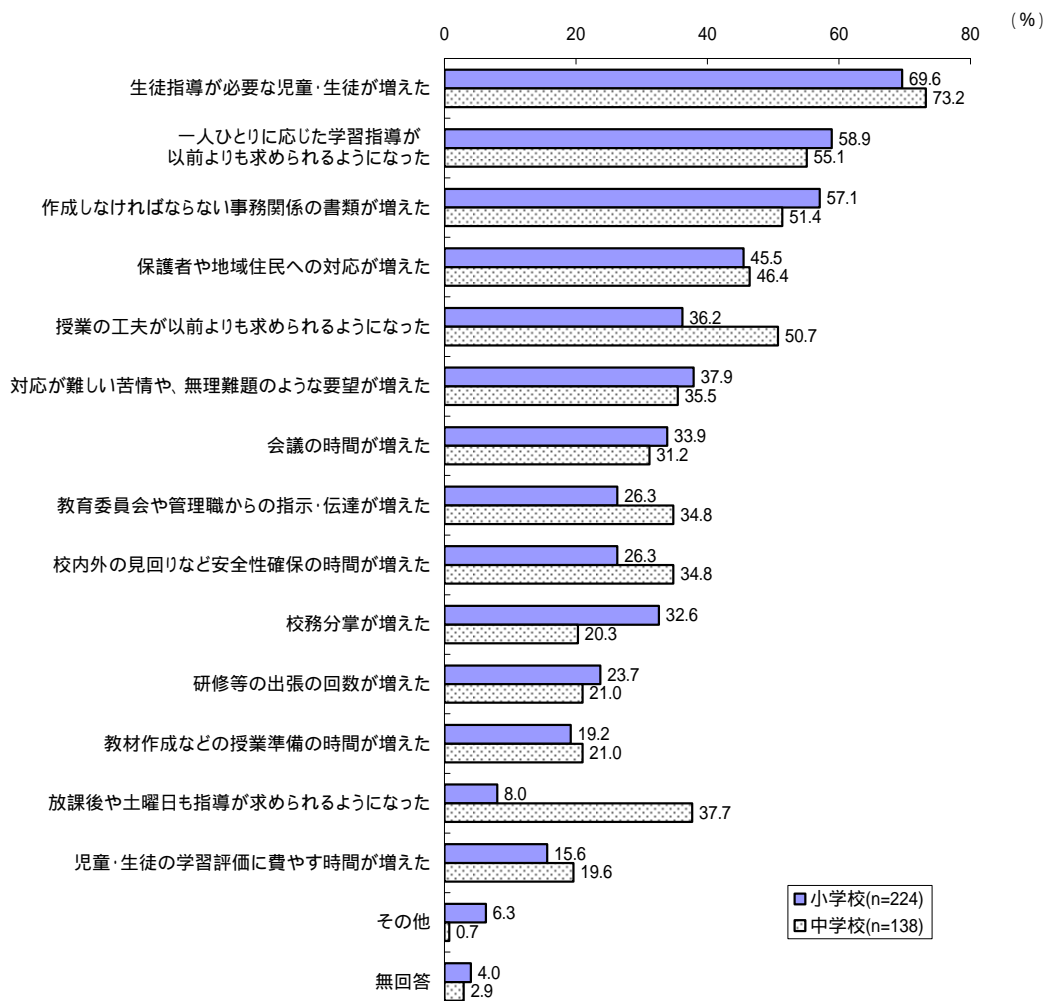


2. 勤務の状況や仕事の忙しさについて

(1) 勤務するなかで感じること

勤務するなかで感じることに付いて伺ったところ、小学校・中学校ともに「生徒指導が必要な児童・生徒が増えた」が最も高く7割前後を占めた。「授業の工夫が以前よりも求められるようになった」、「放課後や土曜日にも指導が求められるようになった」では、中学校は小学校に比べ負担を感じている割合が高い。

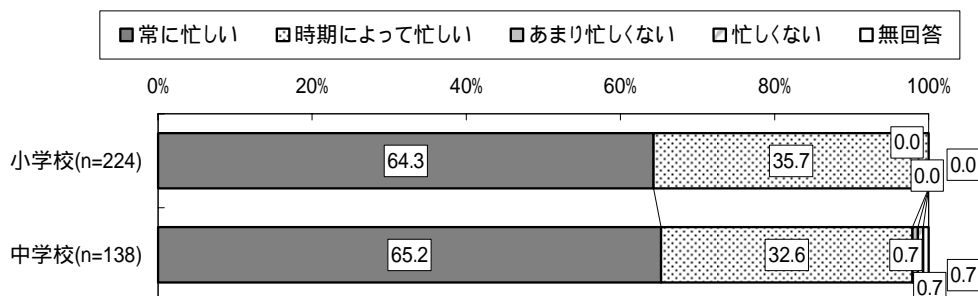
図表 IV-5 勤務するなかで感じること



(2) 職務に対する多忙感

職務に対する多忙感について伺ったところ、小学校・中学校ともに「常に忙しい」が6割強を占めた。「時期によって忙しい」は3割強にとどまり、日常的に忙しいと感じている職員の割合が高いことがうかがえる。

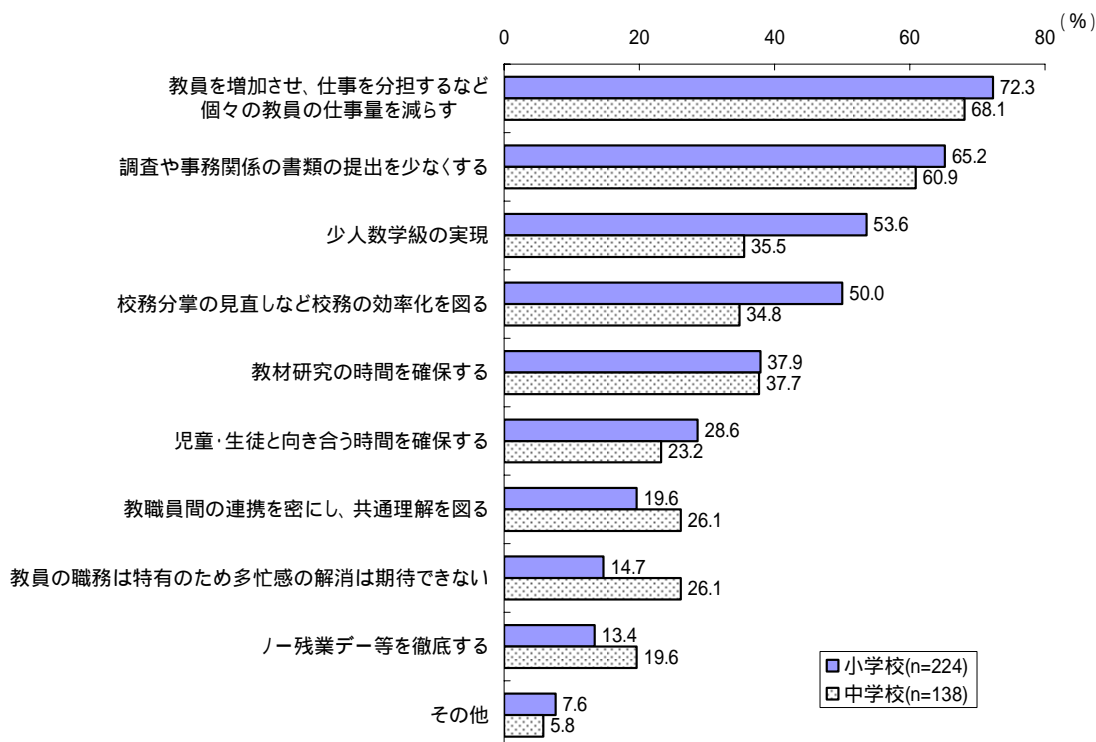
図表 IV-6 職務に対する多忙感



(3) 多忙感を解消するために必要なこと

職務に対する多忙感について伺ったところ、小学校・中学校ともに「教員を増加させ、仕事を分担するなど個々の教員の仕事を減らす」が最も高く7割前後を占めた。「少人数学級の実現」、「校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る」では小学校が中学校を15ポイント近く上回ったが、「教員の職務は特有のため多忙感の解消は期待できない」では中学校が小学校を10ポイント近く上回った。

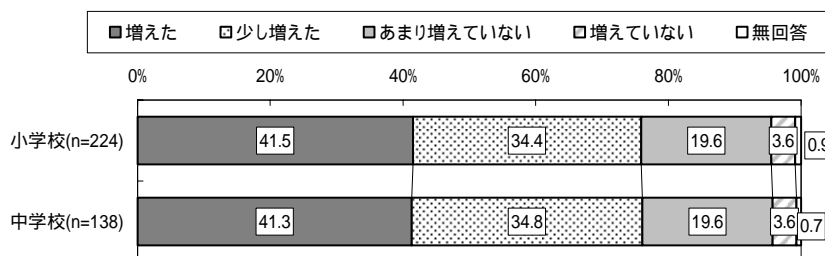
図表 IV-7 多忙感を解消するために必要なこと



(4) 直近1年間でストレスは増えているか

直近1年間でストレスは増えているか伺ったところ、小学校・中学校ともに“増えた”(「増えた」+「少し増えた」)は7割強を占めた。

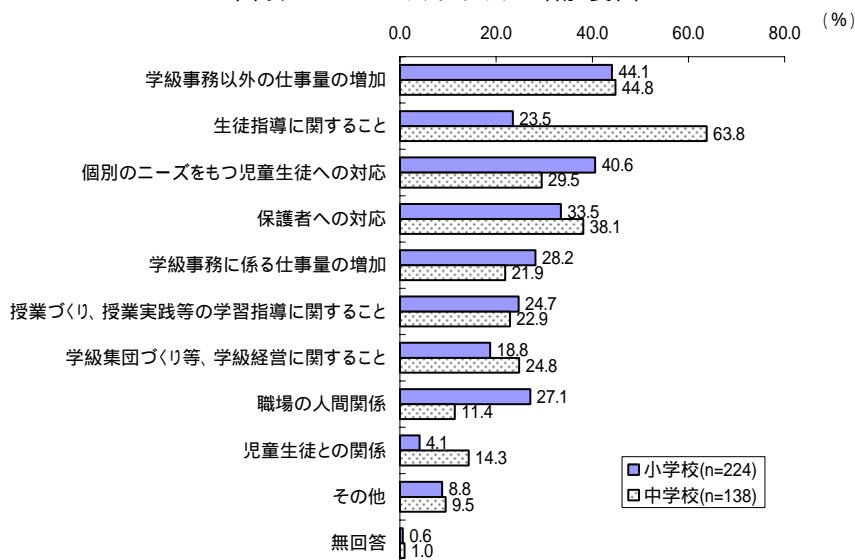
図表 IV-8 直近1年間でストレスは増えているか



(5) ストレスの増加要因

ストレスの増加要因を伺ったところ、小学校では「学級事務以外の仕事量の増加」、中学校では「生徒指導に関すること」が最も高い割合を占めた。「生徒指導に関すること」では中学校が小学校を大きく上回ったが、「個別のニーズをもつ児童生徒への対応」、「職場の人間関係」では小学校で割合が高い。

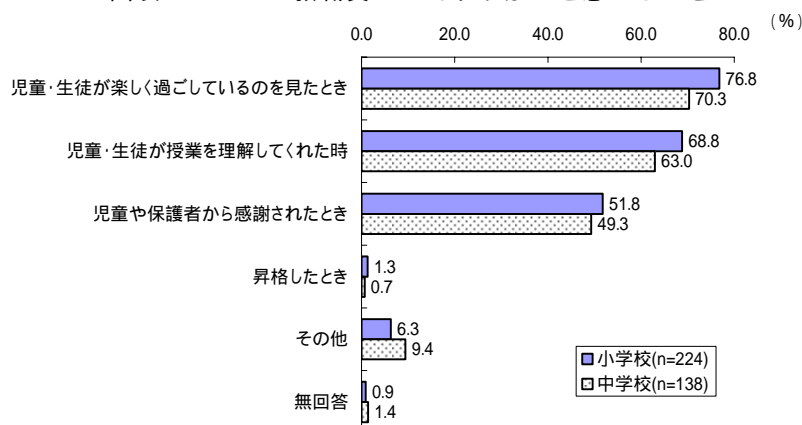
図表 IV-9 ストレスの増加要因



(6) 教職員としてやりがいを感じる時

教職員としてやりがいを感じる時を伺ったところ、小学校・中学校ともに「児童・生徒が楽しく過ごしているのを見たとき」が最も高く7割を上回った。

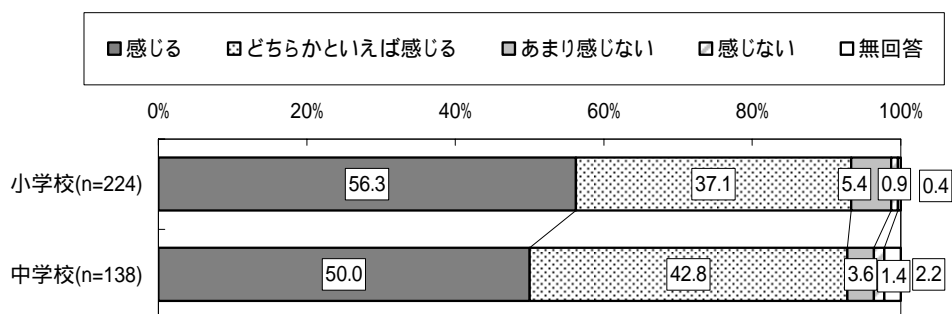
図表 IV-10 教職員としてやりがいを感じる時



(7) 学校の職員として生きがいを感じるか

学校の職員として生きがいを感じるか伺ったところ、小学校・中学校ともに“感じる”（「感じる」+「どちらかといえば感じる」）が9割を上回った。

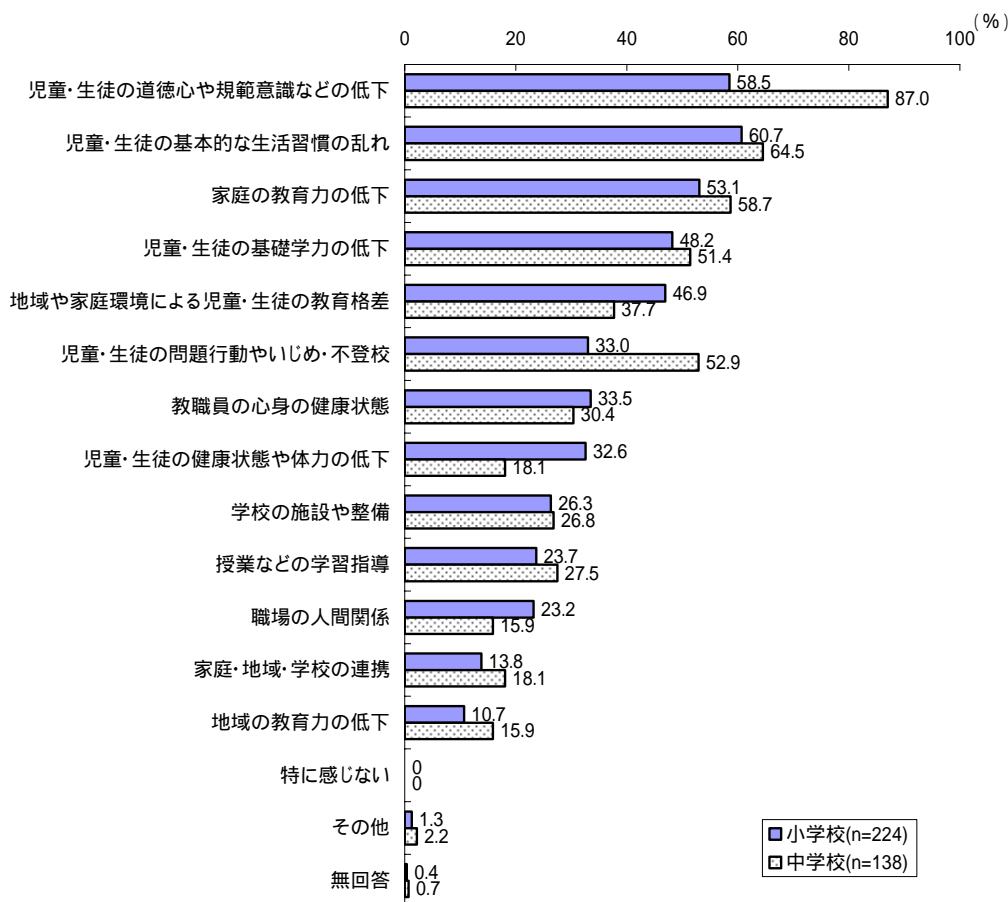
図表 IV-11 学校の職員として生きがいを感じるか



(8) 日々の職務のなかで感じる課題

日々の職務のなかで感じる課題について伺ったところ、小学校では「児童・生徒の基本的な生活習慣の乱れ」、中学校では「児童・生徒の道徳心や規範意識などの低下」が最も高い割合を占めた。特に「児童・生徒の道徳心や規範意識などの低下」、「児童・生徒の問題行動やいじめ・不登校」では中学校が小学校を大きく上回り、日々の課題として認識していることがうかがえる。

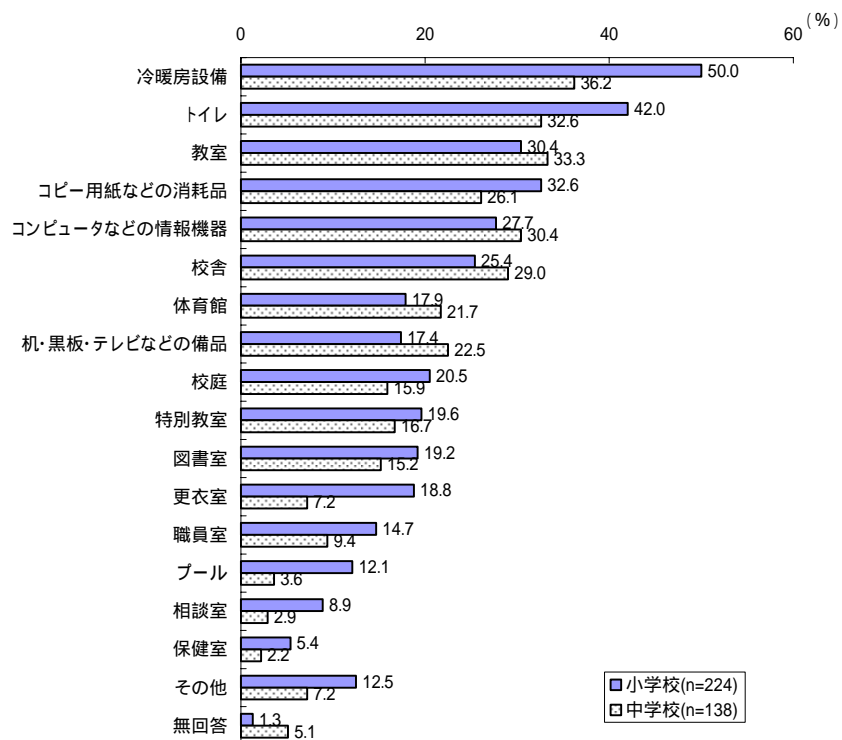
図表 IV-12 日々の職務のなかで感じる課題



(9) 学校の施設や設備等で特に充実・改善してほしいもの

学校の施設や設備等で特に充実・改善してほしいものを伺ったところ、小学校・中学校ともに「冷暖房設備」が最も高い割合を占めた。小学校では「冷暖房設備」、「トイレ」、「コピー用紙などの消耗品」などで中学校に比べ割合が高い。

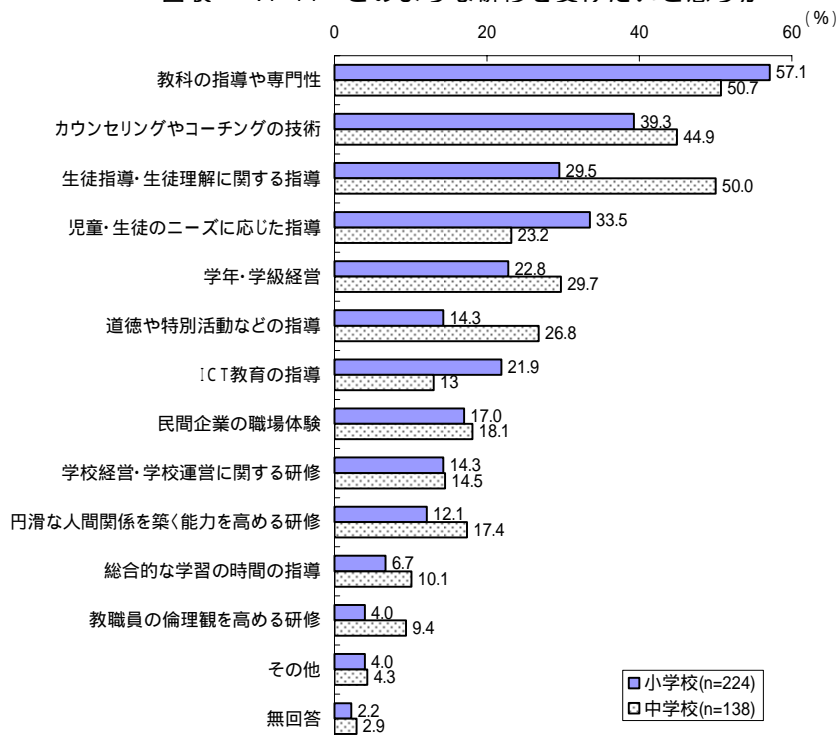
図表 IV-13 学校の施設や設備等で特に充実・改善してほしいもの



(10) どのような研修を受けたいと思うか

どのような研修を受けたいと思うか伺ったところ、小学校・中学校ともに「教科の指導や専門性」が最も高い割合を占めた。「生徒指導・生徒理解に関する指導」、「道徳や特別活動などの指導」では中学校でニーズが高い。

図表 IV-14 どのような研修を受けたいと思うか

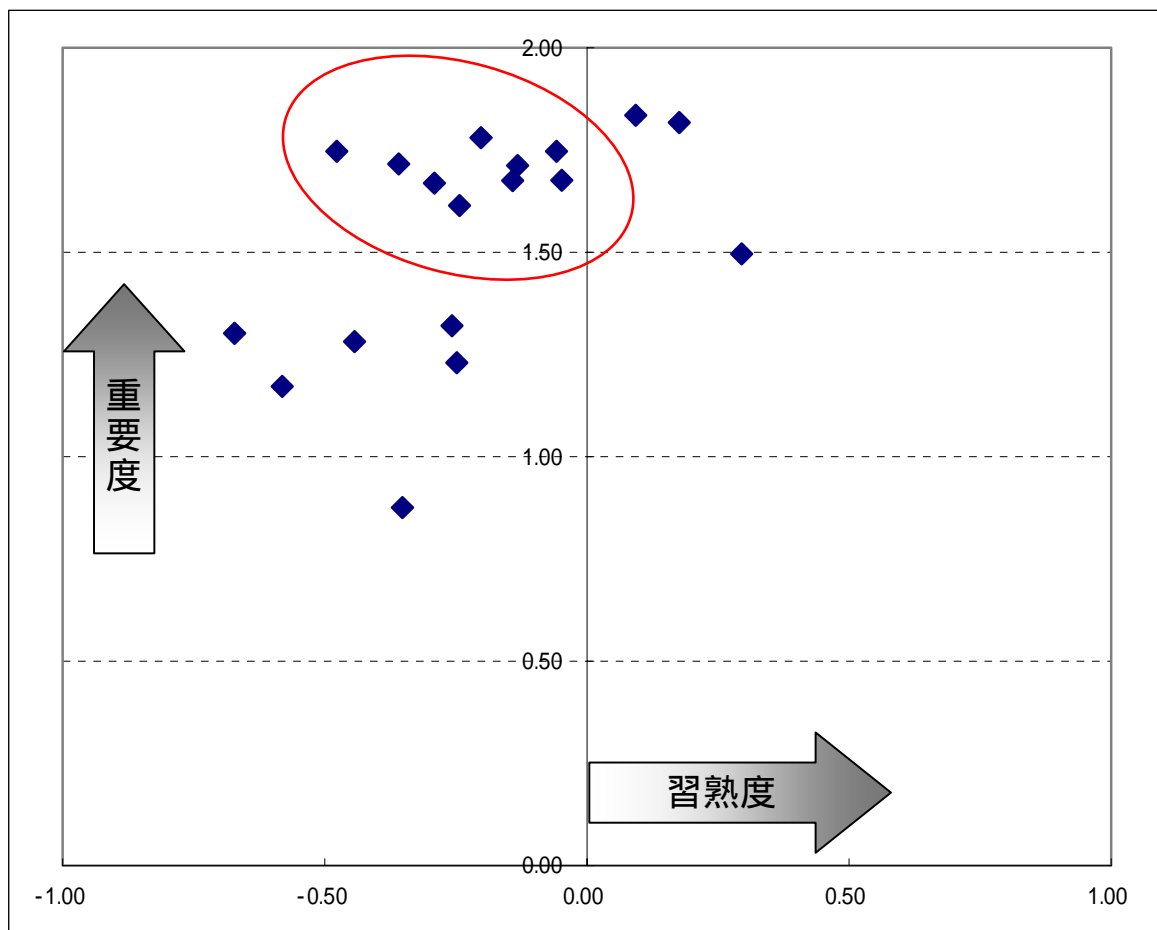


3. 四街道市の学校教育について

四街道市の学校教育について、各項目を指数化し、「(重要度)重要だと思うこと」および「(習熟度)身につけているか」の評価分布をみると、「重要度が高く身につけていないもの」は、「(8)自ら学び、考え、主体的に行動する力」、「(10)表現力やコミュニケーション力」、「(18)人間関係を築く力」などとなった。

- 指数化
- ・重要度：重要である×(2)+どちらかといえば重要×(1)+あまり重要ではない×(-1)+重要ではない×(-2)+わからない×(0)+無回答×(0)
 - ・習熟度：身につけている×(2)+どちらかといえば身につけている×(1)+あまり身につけていない×(-1)+身につけていない×(-2)+わからない×(0)+無回答×(0)

図表 IV-15 四街道市の学校教育について



No	項目	習熟度	重要度	No	項目	習熟度	重要度
	コンピューターを活用する力や情報モラル	-0.25	1.23		表現力やコミュニケーション力	-0.36	1.72
	英語を聞いたり、話したりする力	-0.35	0.88		豊かな心や情操	-0.05	1.68
	環境やエネルギーを大切にする意識	-0.26	1.32		善悪の判断など道徳心	0.09	1.84
	健康や安全を自己管理する力	-0.14	1.68		物事をやり遂げる粘り強さ	-0.29	1.67
	基本的な生活習慣や食習慣	-0.06	1.75		社会生活に必要な常識やマナー	-0.13	1.71
	生き方や進路について考える力	-0.44	1.28		社会に役立とうとする心や公共心	-0.24	1.61
	教科の基礎的な学力	0.18	1.82		伝統や文化を大切にし、郷土や国を愛する心	-0.58	1.17
	自ら学び、考え、主体的に行動する力	-0.48	1.75		体力や運動能力	0.30	1.50
	新しいものを生み出す創造的な力	-0.67	1.30		人間関係を築く力	-0.20	1.78

4. 教育に関する施策全般について

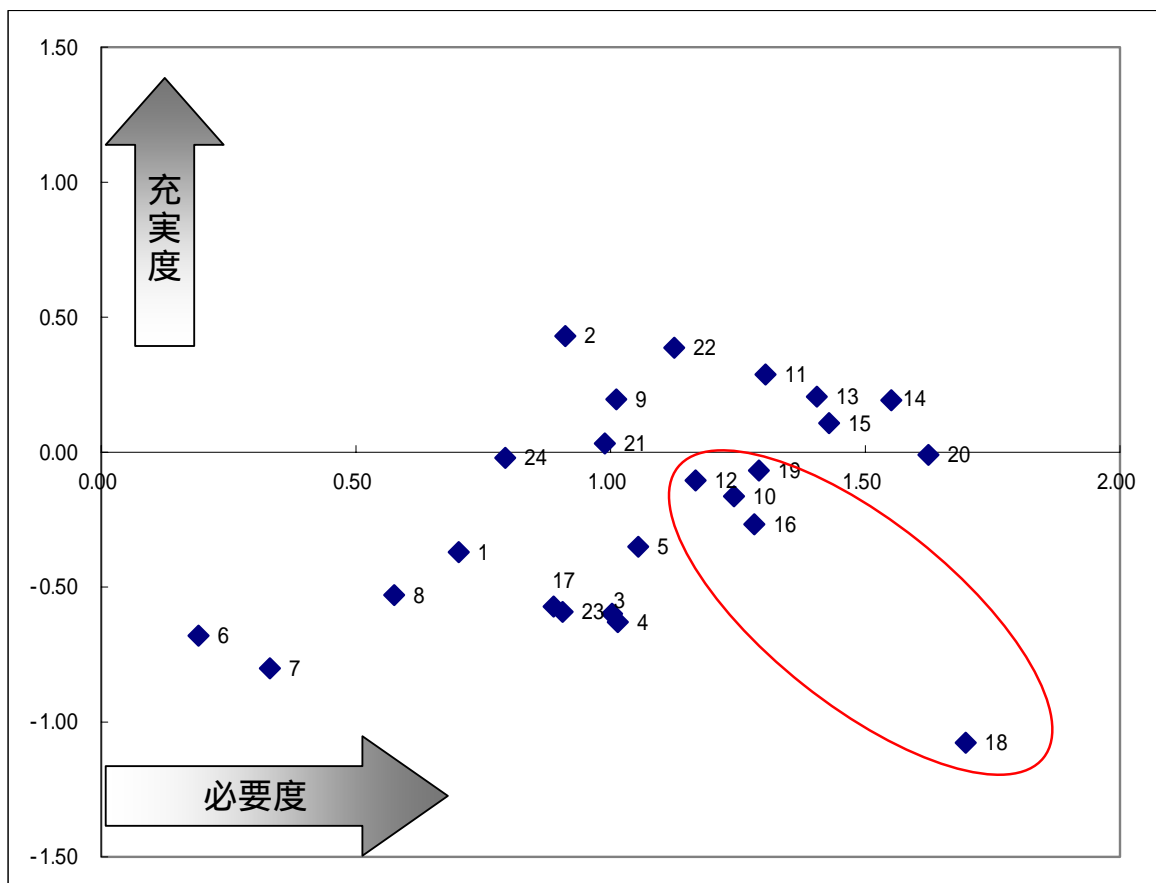
(1) 四街道市の教育施策について

四街道市の教育施策について、各項目を指数化し、「(必要度)力を入れて行う必要はあるか」および「(充実度)充実しているか」の評価分布をみると、「充実度が低く必要度が高いもの」は、「(18)事務軽量を図り、児童・生徒と向き合う時間を確保」、「(16)少人数教育の推進」、「(10)豊かな心を育む道德教育の推進」などとなった。

指数化

- ・必要度：必要である×(2) + どちらかといえば必要×(1) + あまり必要ではない×(-1) + 必要ではない×(-2) + わからない×(0) + 無回答×(0)
- ・充実度：充実している×(2) + どちらかといえば充実している×(1) + あまり充実していない×(-1) + 充実していない×(-2) + わからない×(0) + 無回答×(0)

図表 IV-16 四街道市の教育施策について

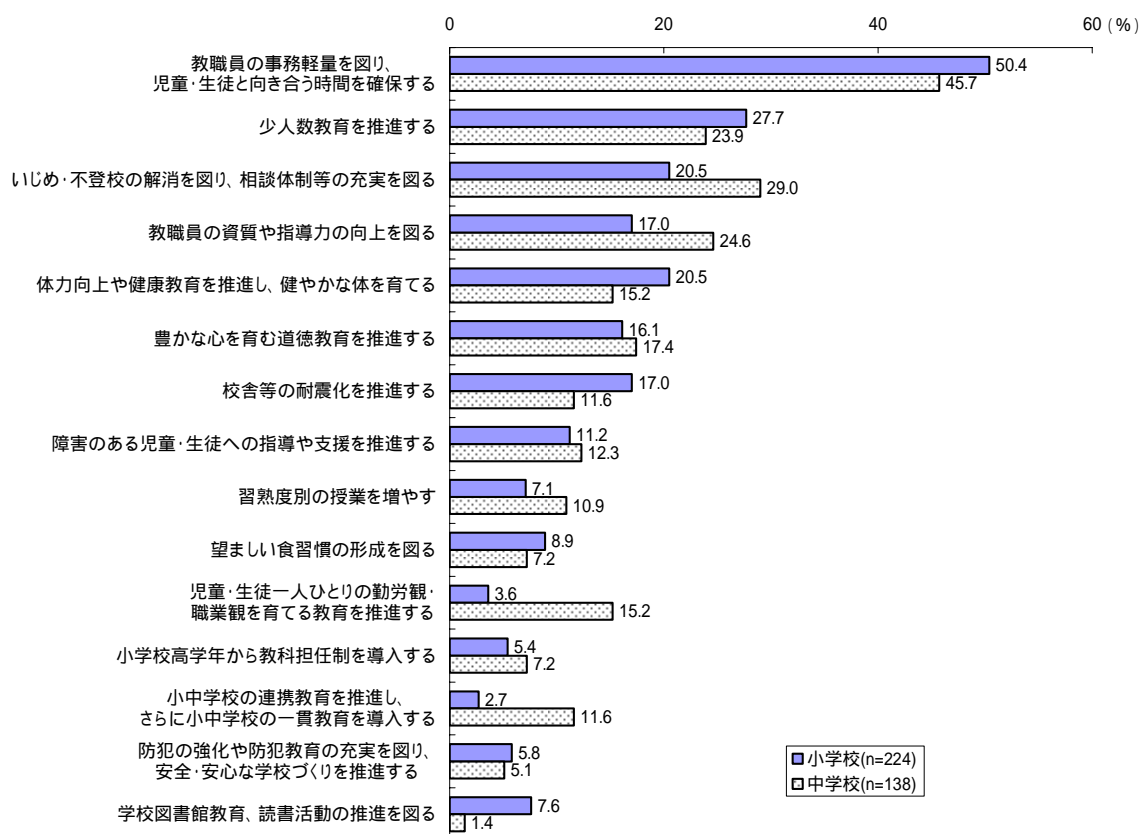


No	項目	必要度	充実度	No	項目	必要度	充実度
1	コンピューターなどを活用した授業の推進	0.70	-0.37	13	障害のある児童・生徒への指導や支援を推進	1.41	0.21
2	ALT(外国人英語指導助手)と連携した英語教育	0.91	0.43	14	いじめ・不登校の解消、相談体制等の充実	1.55	0.19
3	理数教育や科学技術教育の充実	1.00	-0.60	15	教職員の資質や指導力の向上	1.43	0.11
4	環境やエネルギーを大切に教育	1.01	-0.63	16	少人数教育の推進	1.28	-0.27
5	児童・生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育てる教育	1.05	-0.35	17	習熟度別の授業を増やす	0.89	-0.57
6	小学校高学年から教科担任制を導入する	0.19	-0.68	18	事務軽量を図り、児童・生徒と向き合う時間を確保	1.70	-1.08
7	小中学校の連携を推進し、さらに一貫教育を導入する	0.33	-0.80	19	防犯の強化や防犯教育の充実、安全・安心な学校づくり	1.29	-0.07
8	幼稚園、保育所と小学校の連携を推進	0.58	-0.53	20	校舎等の耐震化の推進	1.62	-0.01
9	学校図書館教育、読書活動を推進	1.01	0.20	21	学校支援ボランティアなど、家庭・地域が学校を支援するしくみの充実	0.99	0.03
10	豊かな心を育む道德教育の推進	1.24	-0.16	22	教育活動や運営状況を保護者や地域に発信する	1.13	0.39
11	体力向上や健康教育の推進、健やかな体を育てる	1.30	0.29	23	児童・生徒がボランティアを行い、地域に貢献する学校づくり	0.91	-0.59
12	望ましい食習慣の形成	1.17	-0.11	24	青少年の健全育成を目指し、相談活動や街頭補導活動の充実	0.79	-0.02

(2) 四街道市の教育施策について、特に必要だと思われる施策

特に必要だと思われる教育施策について上位 15 項目をみると、小学校・中学校ともに「(18)教職員の事務軽量を図り、児童・生徒と向き合う時間を確保する」が最も高く半数前後を占めた。「(16)少人数教育を推進する」では保護者調査では 1 割強にとどまったが、教職員調査（小学校）では 3 割弱を占めた。

図表 IV-17 特に必要だと思われる施策（上位 15 項目）

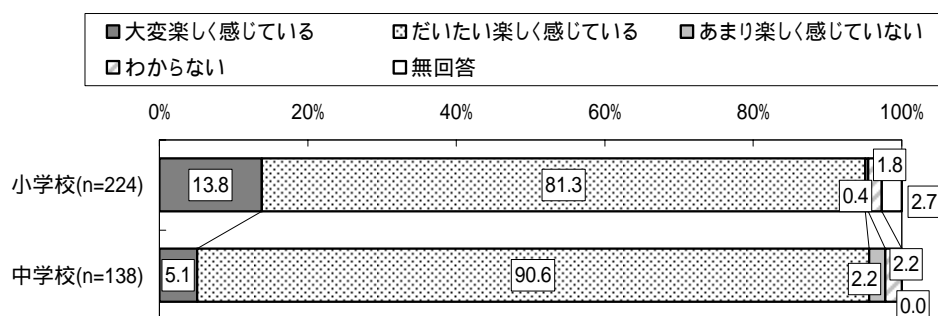


5. 子どもの状況について

(1) 自身の学校の児童・生徒は学校を楽しんでいると思うか

自身の学校の児童・生徒は学校を楽しんでいると思うか伺ったところ、「だいたい楽しく感じている」が小学校で 8 割強、中学校で 9 割強を占めた。

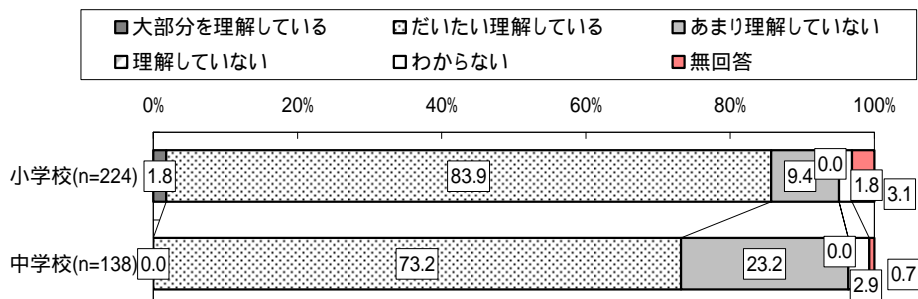
図表 IV-18 児童・生徒は学校を楽しんでいると思うか



(2) 自身の学校の児童・生徒の学習理解度

自身の学校の児童・生徒の学習理解度について伺ったところ、小学校では「だいたい理解している」が8割強、中学校では7割強を占めた。中学校では「あまり理解していない」が2割強と小学校に比べ割合が高い。

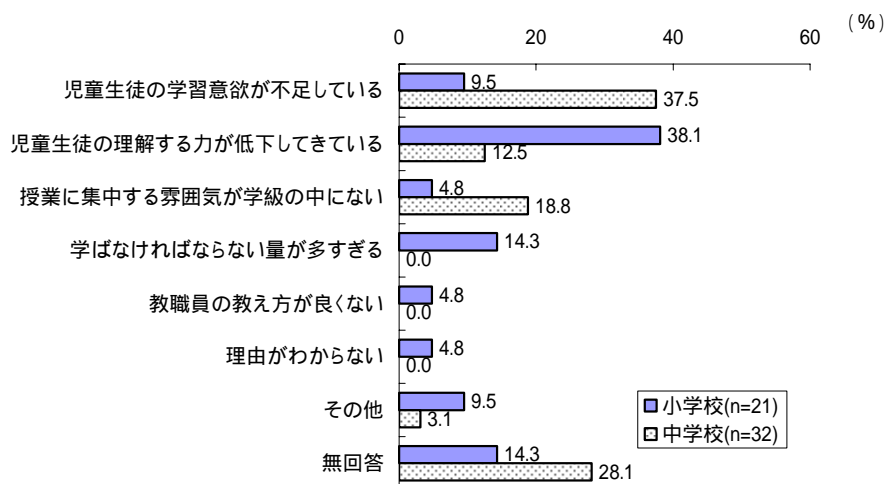
図表 IV-19 児童・生徒の学習理解度



(3) 児童・生徒が授業を理解できない理由

児童・生徒が授業を理解できない理由について伺ったところ、小学校では「児童生徒の理解する力が低下してきている」、中学校では「児童生徒の学習意欲が不足している」が最も高く4割弱を占めた。小学校では理解能力、中学校では学習意欲が課題であることがうかがえる。

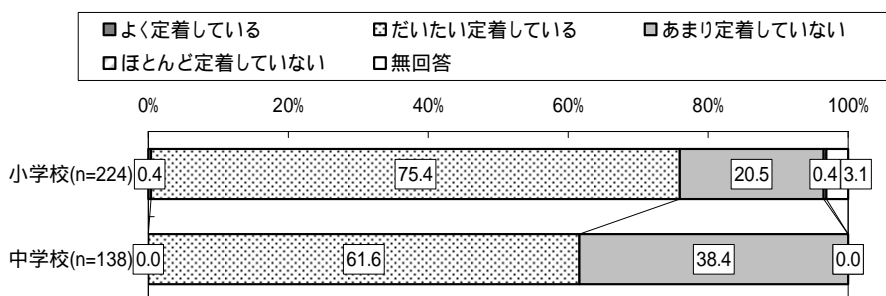
図表 IV-20 児童・生徒が授業を理解できない理由



(4) 児童・生徒の基礎学力の定着度

児童・生徒の基礎学力の定着度を伺ったところ、小学校では「だいたい定着している」が7割強を占めているが、中学校では6割にとどまった。

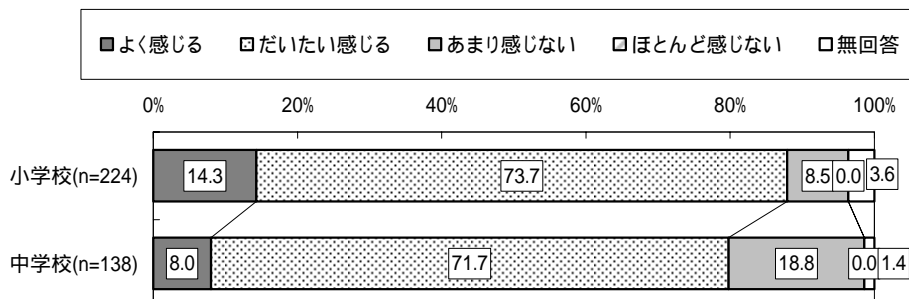
図表 IV-21 児童・生徒の基礎学力の定着度



(5) 児童・生徒の学習意欲を感じるか

児童・生徒の基礎学力の学習意欲について伺ったところ、小学校・中学校ともに「だいたい感じる」が7割強を占めているが、中学校では「あまり感じない」が2割弱を占めた。

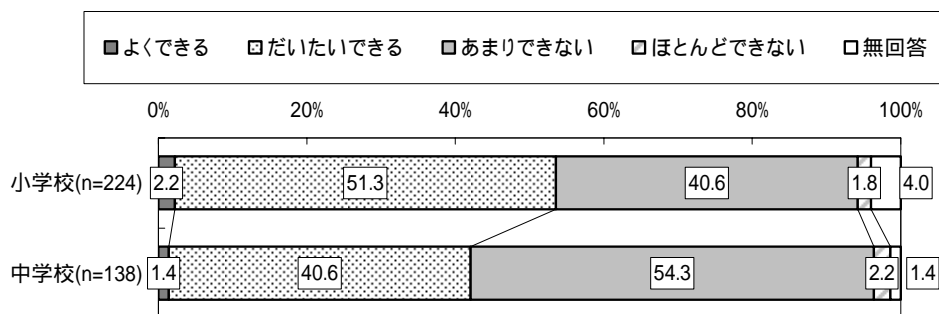
図表 IV-22 児童・生徒の学習意欲を感じるか



(6) 児童・生徒は我慢強く物事に取り組むことが出来ているか

児童・生徒の物事に取り組む力について伺ったところ、小学校では「だいたいできる」が半数強を占めているが、中学校では「あまりできない」が半数を上回った。

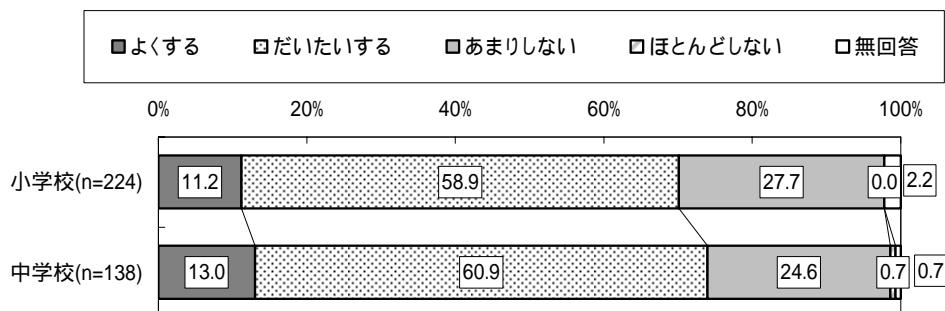
図表 IV-23 児童・生徒は我慢強く物事に取り組むことが出来ているか



(7) 児童・生徒は挨拶をするか

児童・生徒の挨拶状況について伺ったところ、小学校・中学校ともに「する」(「よくする」+「だいたいする」)が7割強を占めた。

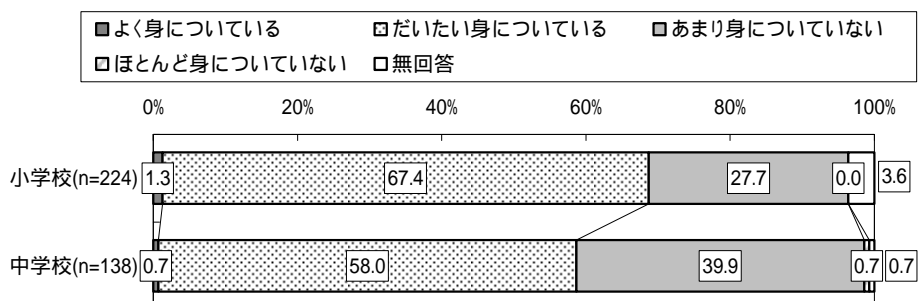
図表 IV-24 児童・生徒は挨拶をするか



(8) 児童・生徒は身の回りの整頓が身についているか

児童・生徒は整頓力について伺ったところ、小学校は“身についている”(「よく身についている」+「だいたい身についている」)が7割弱を占めたが、中学校は6割弱にとどまった。

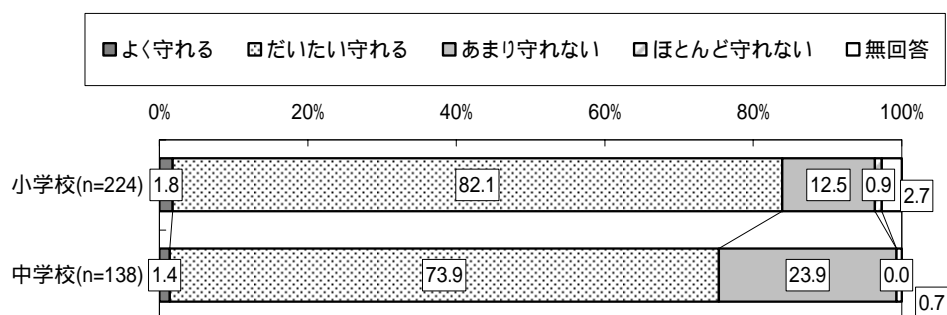
図表 IV-25 児童・生徒は身の回りの整頓が身についているか



(9) 児童・生徒は学校の決まりを守れるか

児童・生徒の学校の決まりに対する遵守状況を伺ったところ、小学校は“守れる”(「よく守れる」+「だいたい守れる」)が8割強を占めたが、中学校は7割強にとどまった。

図表 IV-26 児童・生徒は学校の決まりを守れるか



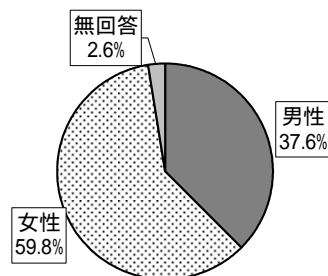
V. 調査結果の分析（市民）

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者の男女別をみると、女性が59.8%と6割弱を占めた。

図表 V-1 性別

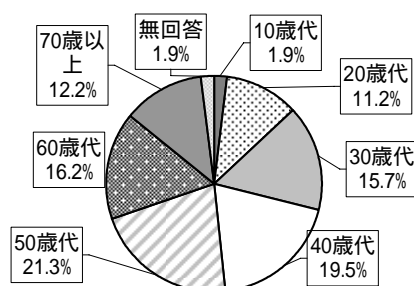


n=776

(2) 年齢

回答者の年齢をみると、50歳代が最も高く21.3%、次いで40歳代が19.5%、60歳代が16.2%などとなった。

図表 V-2 年齢

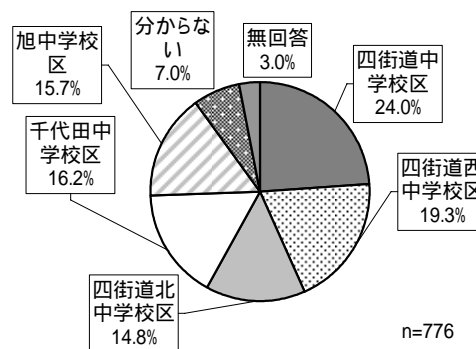


n=776

(3) 居住地区（中学校区）

回答者の居住地区（中学校区）をみると、「四街道中学校区」が最も高く24.0%、次いで「四街道西中学校区」が19.3%などとなった。

図表 V-3 居住地区

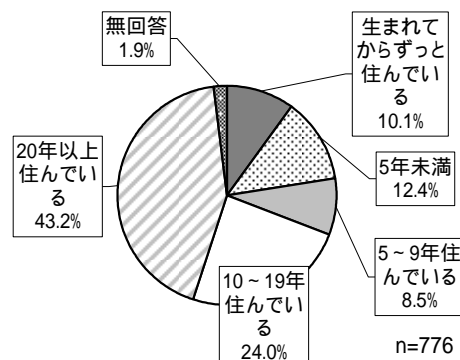


n=776

(4) 居住年数

回答者の居住年数をみると、「20年以上住んでいる」が最も高く43.2%、次いで「10～19年住んでいる」が24.0%などとなった。

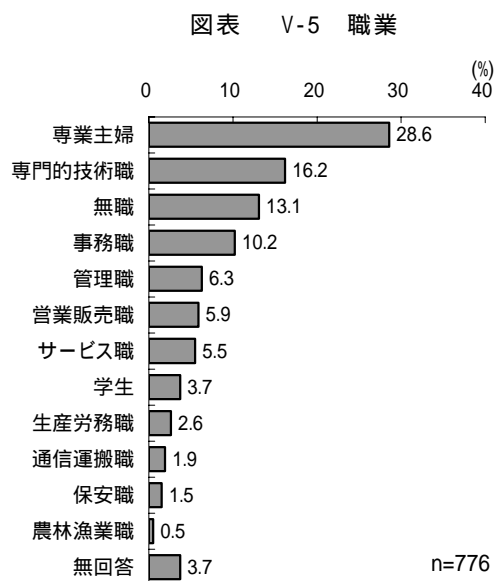
図表 V-4 居住年数



n=776

(5) 職業

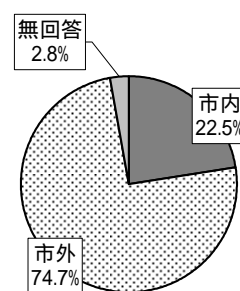
回答者の職業をみると、「専業主婦」が最も高く 28.6%、次いで「専門的技術職」が 16.2% などとなった。



(6) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先をみると、「市外」が 74.7% と 7 割を上回った。

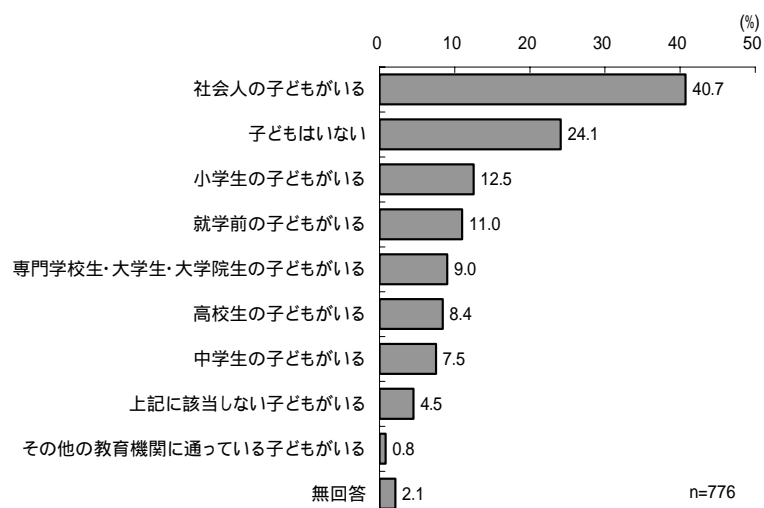
図表 V-6 通勤・通学先



(7) 子どもの有無

回答者の子どもの有無をみると「社会人の子どもがいる」が最も高く 40.7%、次いで「子どもはいない」が 24.1% などとなった。

図表 V-7 子どもの有無

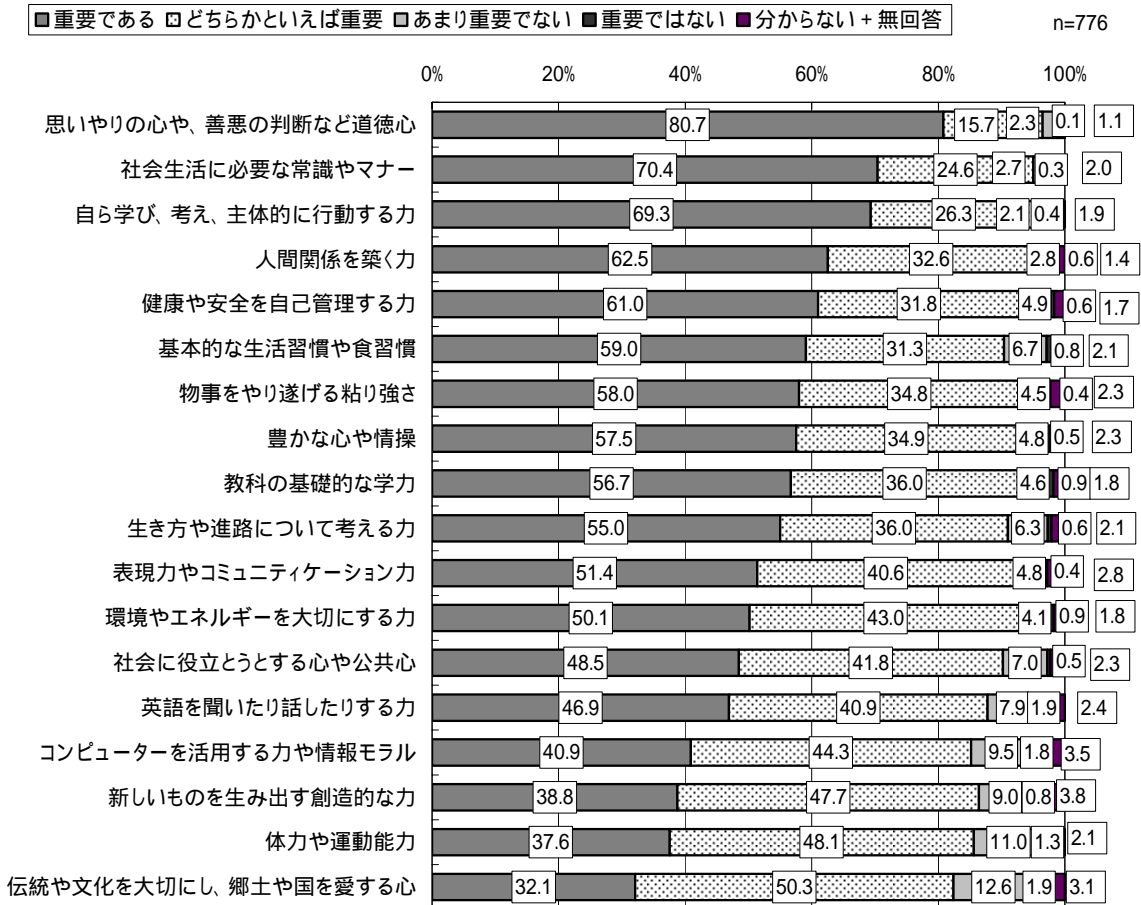


2. 子どもたちへの教育について

(1) 四街道市の学校教育について

学校教育で重要だと思うことを伺ったところ、全ての項目で“重要である”(「重要である」+「どちらかといえば重要である」)は8割を上回った。特に「思いやりの心や、善悪の判断など道徳心」、「社会生活に必要な常識やマナー」で「重要である」と感じている割合が高い。

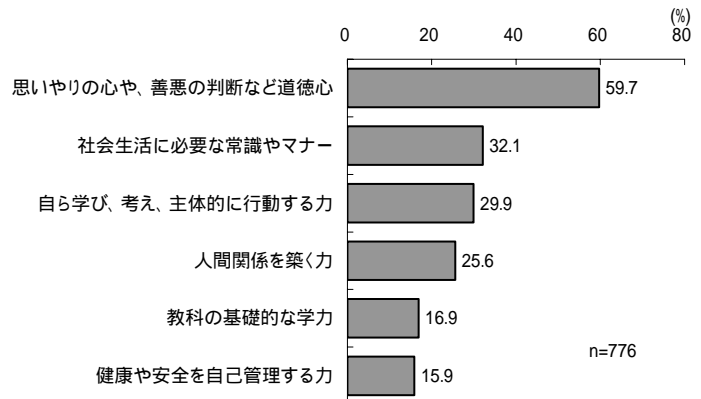
図表 V-8 四街道市の学校教育について



(2) 四街道市の学校教育について、特に重要と思うこと

図表 V-9 特に重要と思うこと(上位6位)

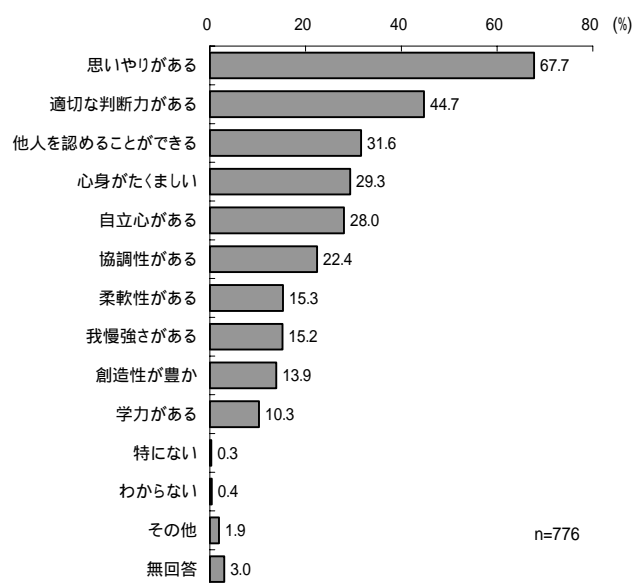
学校教育で特に重要だと思うことについて上位6位をみると、保護者調査と同様に「思いやりの心や、善悪の判断など道徳心」が最も高く6割弱を占めた。



(3) 四街道市の子どもたちにどのような子どもになってほしいか

子どもたちに望むことを伺ったところ、「思いやりがある」、「適切な判断力がある」の上位2項目が保護者調査と同様に高い割合を占めた。

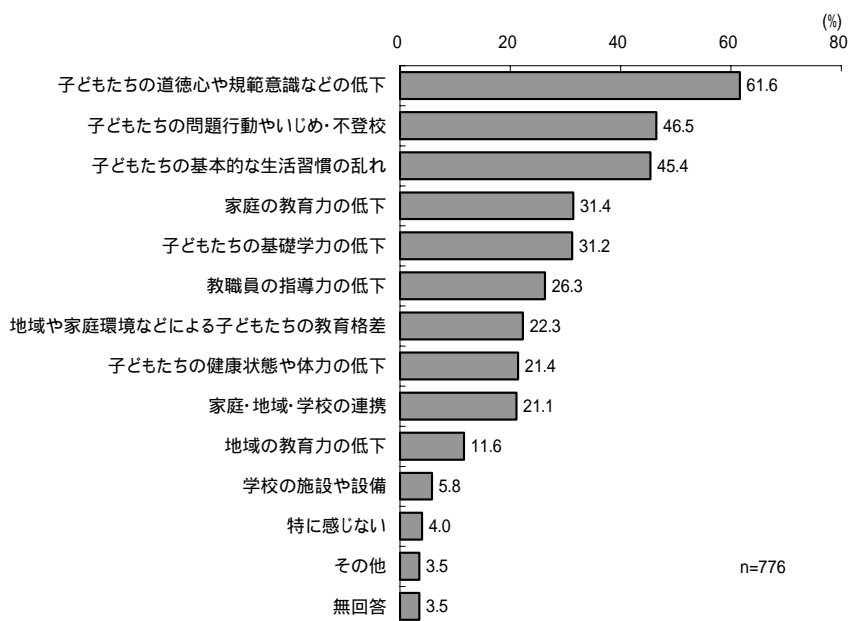
図表 V-10 どのような子どもになってほしいか



(4) 子どもたちや教育について課題と感ずること

子どもたちや教育について課題と感ずることを伺ったところ、「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」が保護者調査と同様に最も高く6割強を占めた。

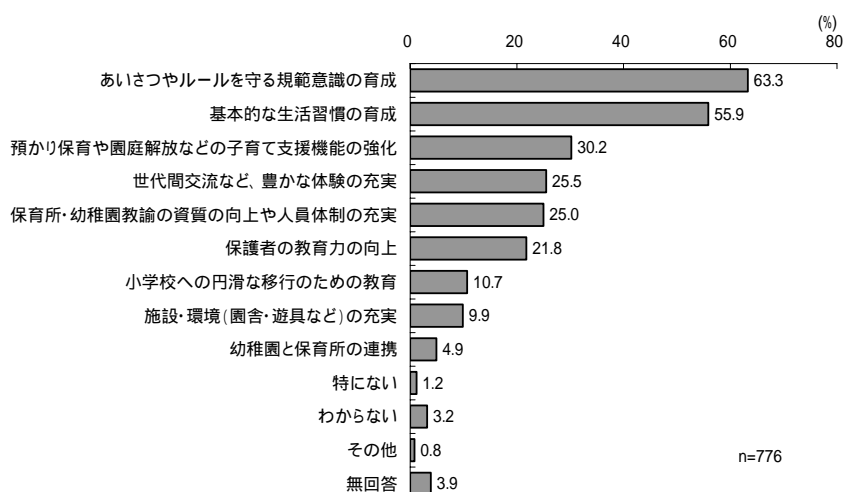
図表 V-11 子どもたちや教育について課題と感ずること



(5) 四街道市の幼児教育の充実に向けて必要なこと

幼児教育の充実に向けて必要なことを伺ったところ、「あいさつやルールを守る規範意識の育成」、「基本的な生活習慣の育成」の2項目が保護者調査と同様に高い割合を占めた。

図表 V-12 幼児教育の充実に向けて必要なこと

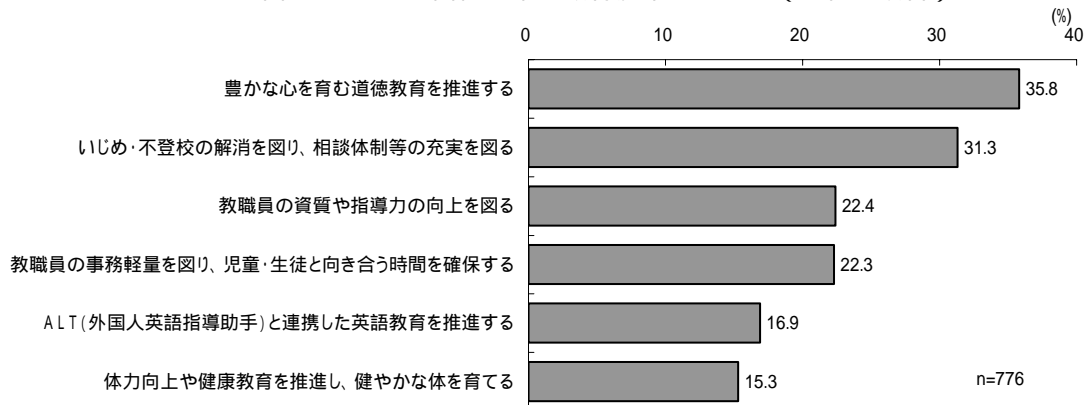


3. 教育に関する施策全般について

(1) 四街道市の教育施策について、特に必要だと思われる施策

特に必要だと思われる教育施策について上位6項目をみると、「豊かな心を育む道徳教育を推進する」が最も高く35.8%、次いで「いじめ・不登校の解消を図り、相談体制等の充実を図る」が31.3%、「教職員の資質や指導力の向上を図る」が22.4%となった。上位6項目は保護者調査でも挙げられた項目であり、要望が高いことがうかがえる。

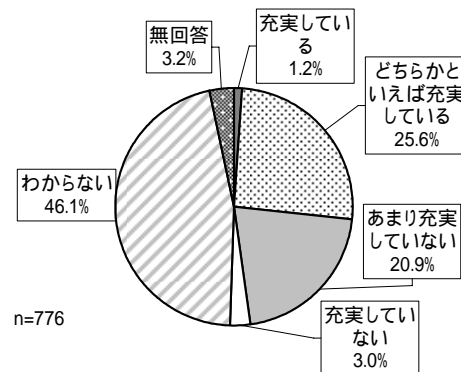
図表 V-13 四街道市の教育施策について（上位6項目）



(2) 四街道市の学校教育施策が充実していると思うか

四街道市の学校教育施策が充実していると思うか伺ったところ、「わからない」が46.1%と半数弱を占めた。「充実している」(「充実している」+「どちらかといえば充実している」)は26.8%にとどまった。

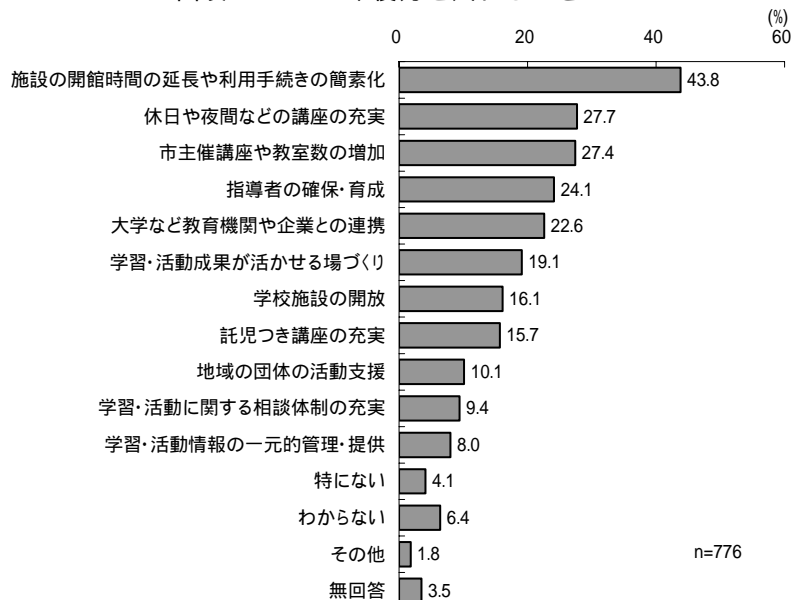
図表 V-14 学校教育が充実していると思うか



(3) 市民が学びたいときに学べるようにするために今後力を入れるべきこと

市民が学びたいときに学べるように今後力を入れるべきことを伺ったところ、「施設の開館時間の延長や利用手続きの簡素化」が最も高く43.8%、次いで「休日や夜間などの講座の充実」が27.7%などとなった。

図表 V-15 今後力を入れるべきこと

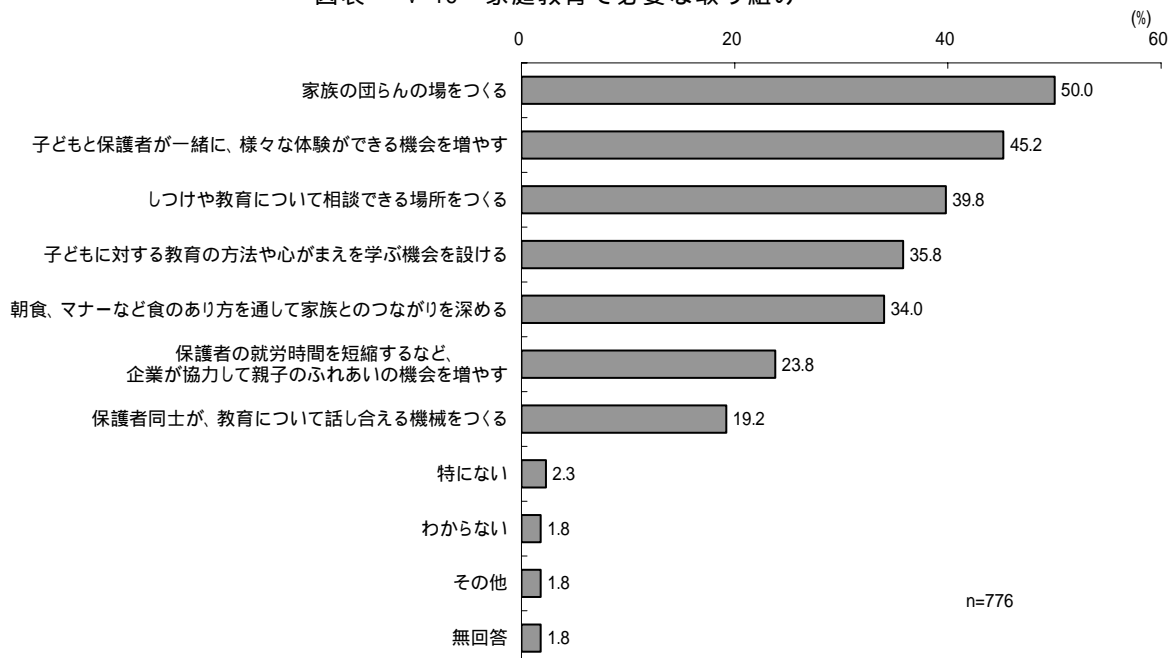


4. 家庭教育・地域教育について

(1) 家庭教育で必要な取り組み

家庭教育で必要な取り組みについて伺ったところ、「家族の団らんの場をつくる」が保護者調査と同様に最も高く半数を占めた。次いで「子どもと保護者が一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」が45.2%などとなった。

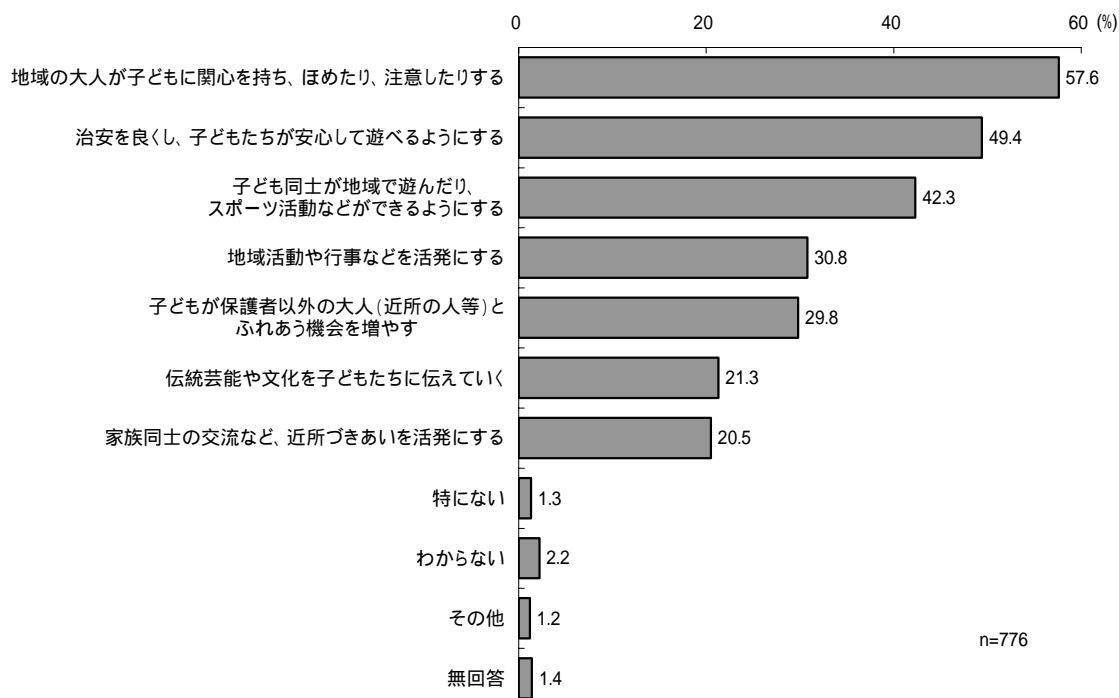
図表 V-16 家庭教育で必要な取り組み



(2) 「地域の教育力」を高めるために必要なこと

「地域の教育力」を高めるために必要なことについて伺ったところ、「地域の大人が子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」が最も高く57.6%、次いで「治安を良くし、子どもたちが安心して遊べるようにする」が49.4%などとなった。

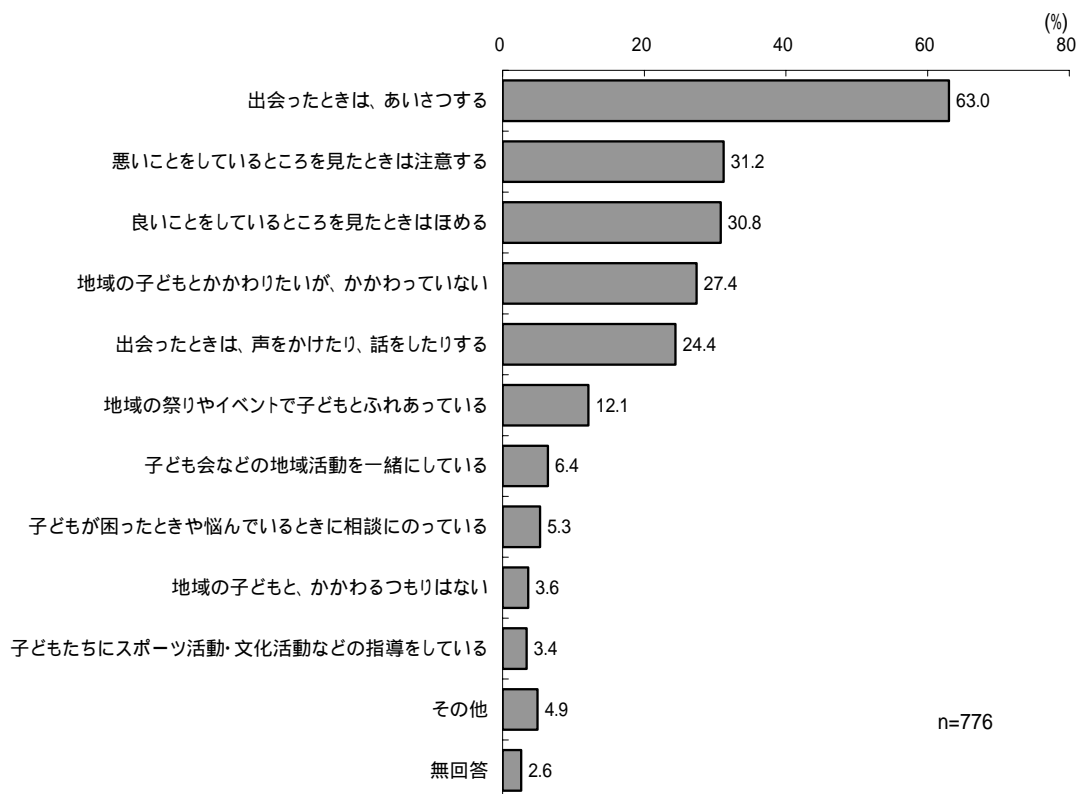
図表 V-17 「地域の教育力」を高めるために必要なこと



(3) 地域の子どもと普段どのように接しているか

地域の子どもと普段どのように接しているかを伺ったところ、「出会ったときは、あいさつする」が 63.0%と最も高く、次いで「悪いことをしているところを見たときは注意する」が 31.2%などとなった。

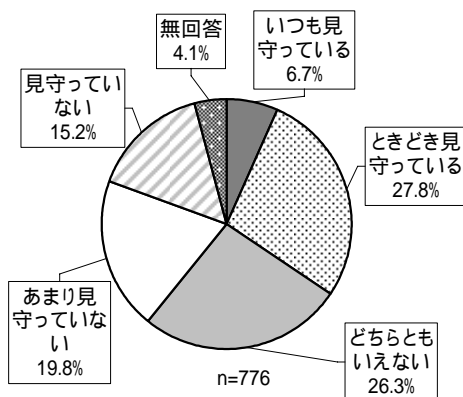
図表 V-18 地域の子どもと普段どのように接しているか



(4) 地域の子どもたちを見守っているか

地域の子どもたちを見守っているかを伺ったところ、“見守っている”（「いつも見守っている」+「ときどき見守っている」）と“見守っていない”（「見守っていない」+「あまり見守っていない」）は 4 割弱とほぼ同割合となった。

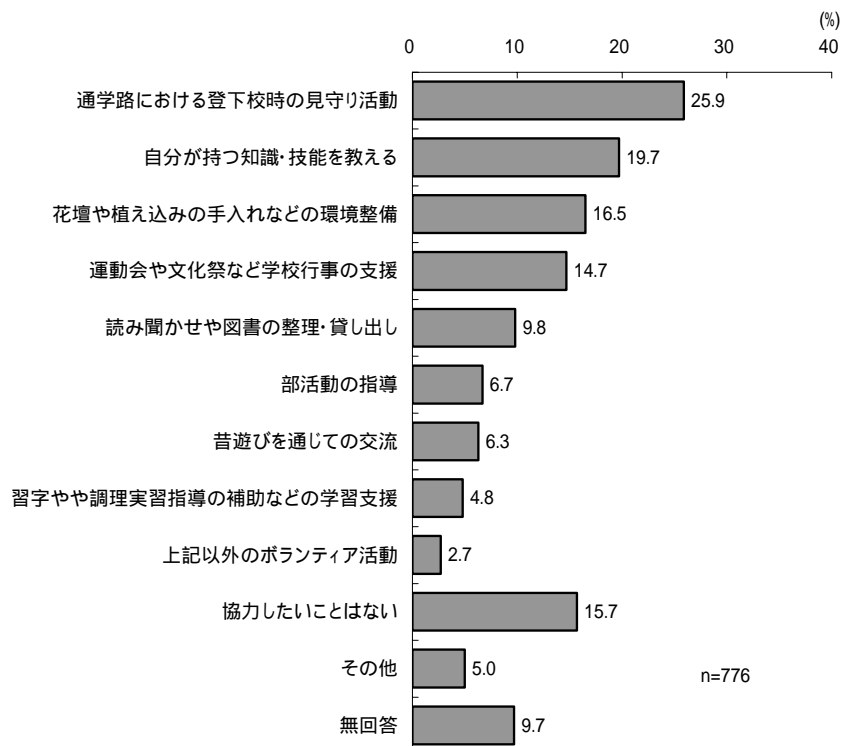
図表 V-19 地域の子どもたちを見守っているか



(5) 学校に対して協力してみたいこと

学校に対して協力してみたいことを伺ったところ、「通学路における登下校時の見守り活動」が最も高く 25.9%、次いで「自分が持つ知識・技能を教える」が 19.7% などとなった。

図表 V-20 学校に対して協力してみたいこと

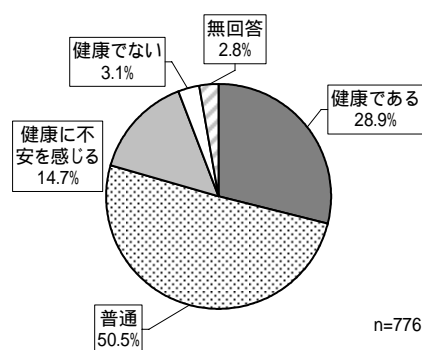


5. 健康や体力について

(1) 健康状態について

回答者の健康状態について伺ったところ、「普通」が最も高く半数を占めた。次いで「健康である」は 28.9%、「健康に不安を感じる」は 14.7% などとなった。

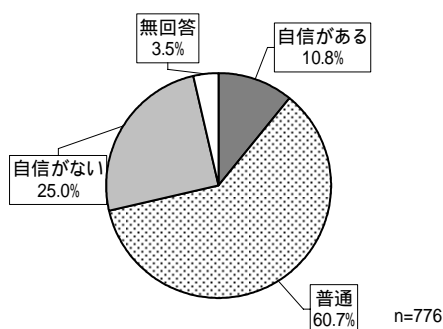
図表 V-21 健康状態について



(2) 体力について

回答者の体力について伺ったところ、「普通」が最も高く 60.7%、次いで「自信がない」は 25.0%、「自信がある」は 10.8% となった。

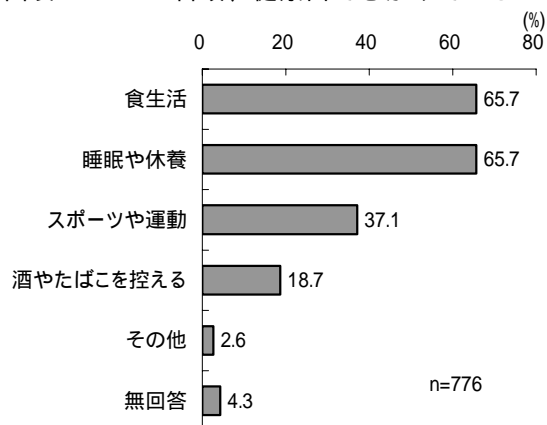
図表 V-22 体力について



(3) 日頃、健康面で心がけていること

日頃、健康面で心がけていることについて伺ったところ、「食生活」、「睡眠や休養」の2項目が最も高く65.7%、次いで「スポーツや運動」が37.1%などとなった。

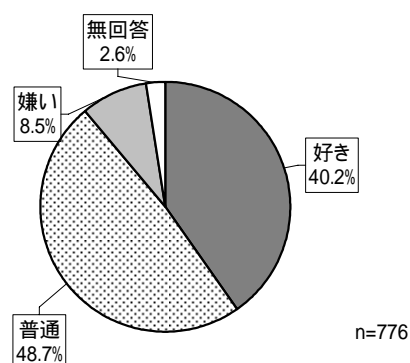
図表 V-23 日頃、健康面で心がけていること



(4) スポーツや運動は好きか

スポーツや運動は好きか伺ったところ、「普通」が最も高く48.7%、次いで「好き」が40.2%、「嫌い」は8.5%と1割弱にとどまった。

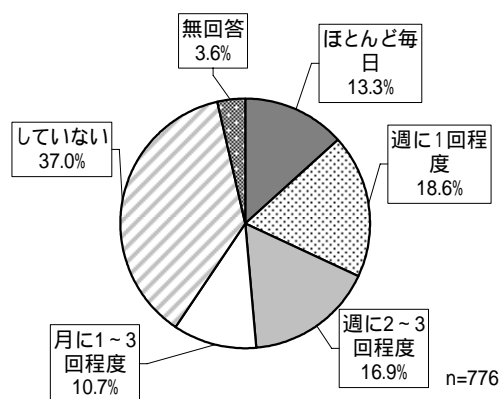
図表 V-24 スポーツや運動は好きか



(5) 運動をする頻度

運動をする頻度を伺ったところ、「していない」が最も高く37.0%、次いで「週に1回程度」が18.6%などとなった。「月に1回以上」運動すると回答した市民は半数を上回った。

図表 V-25 運動をする頻度



(6) 今後スポーツや運動を行いたい

今後スポーツや運動を行いたい
か伺ったところ、「行いたい」は
82.3%、「行いたくない」は12.8%
となった。

【行いたい理由】

スポーツや運動を行いたい理由
について伺ったところ、「体力づく
り」が78.9%と最も高く、他の項
目を大きく上回った。「ストレス
解消」も半数を占めた。

【行いたくない理由】

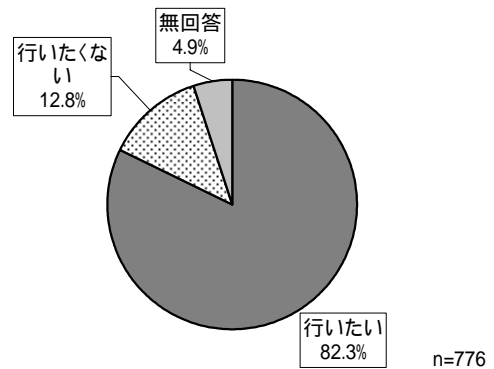
スポーツや運動を行いたくない
理由について伺ったところ、「仕
事や家事が忙しい」が38.4%と最
も高く、次いで「スポーツが嫌い、
興味がない」が29.3%などとなっ
た。

(7) 四街道市を「ふるさと」と感じるか

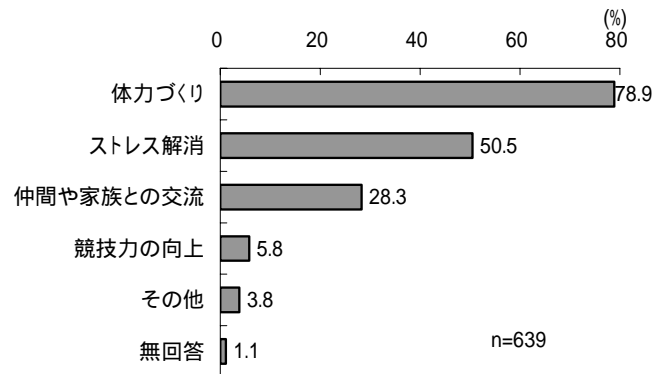
四街道市を「ふるさと」と感じ
るか伺ったところ、「感じる」(「感
じる」+「どちらかといえば感じる」
が半数を占めた。

市民調査では保護者調査と比べ、
「ふるさと」と感じている市民が
多いことがうかがえる。

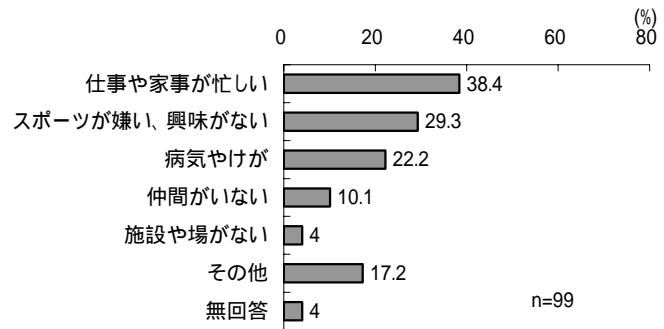
図表 V-26 今後スポーツや運動を行いたい



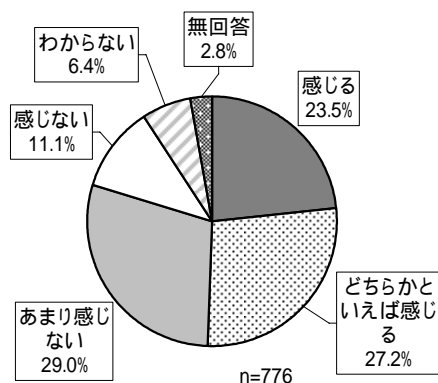
図表 V-27 今後スポーツや運動を行いたい理由



図表 V-28 今後スポーツや運動を行いたくない理由



図表 V-29 四街道市を「ふるさと」と感じるか



「四街道市教育振興基本計画」に係る
アンケート調査報告書

平成 23 年 7 月

発行 四街道市教育委員会 教育部 教育総務課

〒284-0003

千葉県四街道市鹿渡 2001-10

T E L 043 - 424 - 8924
